

三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称	配置No.	設置名称
1	燃料加工工程設備	72	燃料加工含有率分析装置
2	燃料加工工程設備	73	燃料加工含有率分析装置
3	燃料加工工程設備	74	燃料加工含有率分析装置
4	燃料加工工程設備	75	燃料加工含有率分析装置
5	燃料加工工程設備	76	燃料加工含有率分析装置
6	燃料加工工程設備	77	燃料加工含有率分析装置
7	燃料加工工程設備	78	燃料加工含有率分析装置
8	燃料加工工程設備	79	燃料加工含有率分析装置
9	燃料加工工程設備	80	燃料加工含有率分析装置
10	燃料加工工程設備	81	燃料加工含有率分析装置
11	燃料加工工程設備	82	燃料加工含有率分析装置
12	燃料加工工程設備	83	燃料加工含有率分析装置
13	燃料加工工程設備	84	燃料加工含有率分析装置
14	燃料加工工程設備	85	燃料加工含有率分析装置
15	燃料加工工程設備	86	燃料加工含有率分析装置
16	燃料加工工程設備	87	燃料加工含有率分析装置
17	燃料加工工程設備	88	燃料加工含有率分析装置
18	燃料加工工程設備	89	燃料加工含有率分析装置
19	燃料加工工程設備	90	燃料加工含有率分析装置
20	燃料加工工程設備	91	燃料加工含有率分析装置
21	燃料加工工程設備	92	燃料加工含有率分析装置
22	燃料加工工程設備	93	燃料加工含有率分析装置
23	燃料加工工程設備	94	燃料加工含有率分析装置
24	燃料加工工程設備	95	燃料加工含有率分析装置
25	燃料加工工程設備	96	燃料加工含有率分析装置
26	燃料加工工程設備	97	燃料加工含有率分析装置
27	燃料加工工程設備	98	燃料加工含有率分析装置
28	燃料加工工程設備	99	燃料加工含有率分析装置
29	燃料加工工程設備	100	燃料加工含有率分析装置
30	燃料加工工程設備	101	燃料加工含有率分析装置
31	燃料加工工程設備	102	燃料加工含有率分析装置
32	燃料加工工程設備	103	燃料加工含有率分析装置
33	燃料加工工程設備	104	燃料加工含有率分析装置
34	燃料加工工程設備	105	燃料加工含有率分析装置
35	燃料加工工程設備	106	燃料加工含有率分析装置
36	燃料加工工程設備	107	燃料加工含有率分析装置
37	燃料加工工程設備	108	燃料加工含有率分析装置
38	燃料加工工程設備	109	燃料加工含有率分析装置
39	燃料加工工程設備	110	燃料加工含有率分析装置
40	燃料加工工程設備	111	燃料加工含有率分析装置
41	燃料加工工程設備	112	燃料加工含有率分析装置
42	燃料加工工程設備	113	燃料加工含有率分析装置
43	燃料加工工程設備	114	燃料加工含有率分析装置
44	燃料加工工程設備	115	燃料加工含有率分析装置
45	燃料加工工程設備	116	燃料加工含有率分析装置
46	燃料加工工程設備	117	燃料加工含有率分析装置
47	燃料加工工程設備	118	燃料加工含有率分析装置
48	燃料加工工程設備	119	燃料加工含有率分析装置
49	燃料加工工程設備	120	燃料加工含有率分析装置
50	燃料加工工程設備	121	燃料加工含有率分析装置
51	燃料加工工程設備	122	燃料加工含有率分析装置
52	燃料加工工程設備	123	燃料加工含有率分析装置
53	燃料加工工程設備	124	燃料加工含有率分析装置
54	燃料加工工程設備	125	燃料加工含有率分析装置
55	燃料加工工程設備	126	燃料加工含有率分析装置
56	燃料加工工程設備	127	燃料加工含有率分析装置
57	燃料加工工程設備	128	燃料加工含有率分析装置
58	燃料加工工程設備	129	燃料加工含有率分析装置
59	燃料加工工程設備	130	燃料加工含有率分析装置
60	燃料加工工程設備	131	燃料加工含有率分析装置
61	燃料加工工程設備	132	燃料加工含有率分析装置
62	燃料加工工程設備	133	燃料加工含有率分析装置
63	燃料加工工程設備	134	燃料加工含有率分析装置
64	燃料加工工程設備	135	燃料加工含有率分析装置
65	燃料加工工程設備	136	燃料加工含有率分析装置
66	燃料加工工程設備	137	燃料加工含有率分析装置
67	燃料加工工程設備	138	燃料加工含有率分析装置
68	燃料加工工程設備	139	燃料加工含有率分析装置
69	燃料加工工程設備	140	燃料加工含有率分析装置
70	燃料加工工程設備	141	燃料加工含有率分析装置
71	燃料加工工程設備	142	燃料加工含有率分析装置

配置No.	設備名称	配置No.	設置名称	配置No.	設置名称
191	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-11	199	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-19	220	可搬型重大事故等対処設備-4
192	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-12	201~212	ローカルクーラ用室外機	221	可搬型重大事故等対処設備-5
193	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-13	213~222	管理区域気体廃棄・換気空調設備	222	可搬型重大事故等対処設備-6
194	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-14	223	管理区域気体廃棄・換気空調設備		
195	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-15				
196	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-16				
197	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-17				
198	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-18				

日本原燃株式会社 MOX燃料工場
 燃料加工建屋 (PA)
 全体機器配置図 平面図
 地下2階 (EL. 43.2M)

注) 一時的に設置する設備・装置は除く。また、現場合わせて設置場所が確定する監視カメラ、IDカメラ等も本図から除く。



配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
【燃料集合体組立工程設備】			
1	燃料集合体立会検査装置	93	固体廃棄物選別装置
2	燃料集合体用貯蔵チャンネル	95	分析スクラップ保管GB(将来設置)
		97	フォークリフト
		98	斜入容器保管棚
		99	分析スクラップ保管GB(将来設置)
【梱包・出荷 工程設備】			
12	燃料ホルダ取付装置		
13	組立クレーン		電力供給設備
14	輸送容器点検架台	100	燃料移送ポンプ
15	梱包準備室天井クレーン1	101	燃料油貯蔵タンク
16	梱包準備室天井クレーン2		
17	電動式搬送路しゃへい履		
18	梱包室保守用天井クレーン		
			放射線管理設備
		121	排気用サンプリングラック
【燃料精加工工程設備】			
21	オートクレーン試験機	122	サンプリングポンプユニット
22	バースト試験機	123	$\alpha \cdot \beta$ (r) 線ハンドフットクロスモニター-20
23	全相試験設備		
24	流し台(回収槽)		
			NDA
		151	燃料集合体測定装置
【原料粉末未受入工程設備】			
41	ウラン粉末未受入出庫装置	152	固体廃棄物測定装置-1
42	ウラン粉末未受入移送装置	153	固体廃棄物測定装置-2
43	ウラン貯蔵棚		
44	ウラン粉末未受入移送装置		
45	ウラン粉末未受入移送容器一時保管エリア		共通設備
		171	南第2電動ハッチ
【管理区域気体廃棄・換気空調設備】			
【窒素消火設備】			
61	建屋排風機	181	固定式ガス消火 消火ガス貯蔵容器ユニット, 減圧装置ユニット
62	工程室排風機		
63	グローブボックス排風機	182	GB消火 消火ガス貯蔵容器ユニット, 選別弁ユニット
64	建屋排気フィルタユニット (C1系)		
65	建屋排気フィルタユニット (C2系)	183	窒素ガス消火設備室 消火ガス貯蔵容器ユニット, 選別弁ユニット
66	グローブボックス排気フィルタユニット		
67	工程室排気フィルタユニット		
68	窒素循環ファン		
69	窒素循環冷却器		強制閉止ダンパ駆動設備
		191	強制閉止ダンパ作用ガス貯蔵容器ユニット
【非管理区域換気空調設備】			
【可搬型重大事故等対処設備】			
70	蒸気温水槽		可搬型重大事故等対処設備-1
71	蒸気温水槽ポンプ	201	可搬型重大事故等対処設備-2
		202	可搬型重大事故等対処設備-3
【冷却水設備】			
81	焼結炉系冷水熱交換器		
82	焼結炉系冷水ポンプ	Q-401~404	屋内消火栓
83	焼結炉系冷水用配管槽	Q-407~410	
84	焼結炉系純水製造装置		

■ NDAおよび放射線モニタ

■ 査察現場キャビネット (LC)

フロアスイッチ (FS)

光接続箱

アクセッスルート

: 点検用歩廊 (機電側)

: 点検用歩廊 (建築側)

: フリーアクセスフロア

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+50.3Mを示す。

注) 一時的に設置する設備・装置は除く。また、現場合わせて設置する監視カメラ、IDカメラ等も本図から除く。

燃料加工建屋に設置するSG設備 地下1階 (4/7)

日本原燃株式会社 燃料加工建屋 (PA) 全体機器配置図 平面図 地下1階 (EL+50.3M)



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称
[共通設備]	
1	入出庫クレーン
[梱包・出荷 工程設備]	
11	容器移載装置
12	貯蔵梱包クレーン
13	輸送用容器
14	しゃへい蓋/しゃへい蓋支持架台
15	容器蓋取付装置
17	輸送容器 トラック
18	ガイド管
[電力供給設備]	
21	非常用内電源設備 (非常用ガスタービン発電機)
22	非常用蓄電池
[放射線管理設備]	
31	放射能試料自動測定装置
32	α線用核種分析装置
33	γ線用核種分析装置
34	多試料型放射能測定装置
35	液体シンチレーションカウンタ
36	フード
37	入退域管理装置
38	退出モニタ (体表面モニタ)
39	出入監視器-1
43	出入管理計算機サーバ端末-1
44	出入管理計算機サーバ端末-2
50	フード
51	流し台 (回収槽)
52	器具乾燥棚
53	乾燥棚
54	簡易型入退域管理装置
55	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-22~24
56	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-21
57	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-25,26 (特設設置)
58	出入監視器-2
[液体廃棄設備]	
71	実験台
72	全窒素分析装置
73	ドラフトチャンバー
75	ICP発光分光分析装置
76	イオンクロマトグラフ装置
77	輸送容器保管室用空調機器ドレン回収槽
[ユーティリティ設備 (ガス消火設備)]	
81	二酸化炭素貯蔵容器ユニット、選択弁ユニット
[ユーティリティ設備 (ガス供給設備)]	
111	水素-アルゴン混合ガス設備 (混合ガス受槽)
112	水素-アルゴン混合ガス設備 (ガスパネルユニット)
121	ウラン輸送容器一時保管エリア
Q-501~514	屋内消火栓

- NDAおよび放射線モニタ
- 査察現場キャビネット (LC)
フロアスイッチ (FS)
光接続箱
- アクセスルート

8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 9700
85800

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+56.8Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電側)
- : 点検用歩廊 (建築側)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地上1階 (EL+56.8M)

燃料加工建屋に設置するSG設備 地上1階 (5/7)

注) 一時的に設置する設備・装置は除く。また、現場合わせて設置場所が確定する監視カメラ、IDカメラ等も本図から除く。



階層	0.8以下	6以下	25以下	200以下	2000以下	20000以下
記号	▽▽▽▽	▽▽▽	▽▽	▽	△	△

三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称
1	電力供給設備
2	給気ファン
4	排気ファン
5	給気フィルタユニット
[管理区域気体廃棄・換気空調設備]	
11	給気フィルタユニット
12	送風機
13	C1,C2系コイルユニット
14	加湿系コイルユニット
15	C3系コイルユニット
16	冷却系コイルユニット
17	冷却水系膨張槽
18	循環空素冷却用冷凍機
19	循環空素冷却用冷水ポンプ
20	ローカルクーラ用冷凍機
21	ローカルクーラ用冷水ポンプ
23	ローカルクーラ冷水系膨張槽
[非管理区域換気空調設備]	
31	非管理区域外調機
32	非管理区域給気フィルタユニット
33	非管理区域排風機
34	空調用蒸気安全弁サイレンサ
46	非常用電気A室送風機
47	非常用電気A室排風機
49	非常用電気C室送風機
50	非常用電気C室排風機
52	非常用発電機室排風機
54	非管理区域便所排風機
56	中央監視室排風機
57	非管理区域送風機
58	中央監視室送風機
59	中央監視室給気フィルタユニット
[固体廃棄設備]	
61	角型容器A
62	ドラム缶
63	フォークリフト
64	廃棄物保管設備垂直搬送機
[共通設備]	
104	南第3ハッチ
105	設備搬入口電動ハッチ
106	高脚室電動ハッチ
107	輸送容器検査室電動ハッチ
[圧縮空気供給設備]	
121	呼吸用空気貯槽
[燃料棒加工工程設備]	
131	燃料棒受入一時保管エリア
[GB消火設備]	
[ドレン設備]	
151	掃除用流し
[可搬型重大事故等対処設備]	
161	可搬型重大事故等対処設備-4
162	可搬型重大事故等対処設備-5
163	可搬型重大事故等対処設備-6
164	可搬型重大事故等対処設備-7
Q-601-607	屋内消火栓

— アクセスルート

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+62.8Mを示す。

: 点検用歩廊 (機電側)
 : 点検用歩廊 (建築側)
 : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地上2階 (EL+62.8M)

注) 一時的に設置する設備・装置は除く。また、現場合わせで設置場所が確定する監視カメラ、IDカメラ等も本図から除く。

燃料加工建屋に設置するSG設備 地上2階 (6/7)



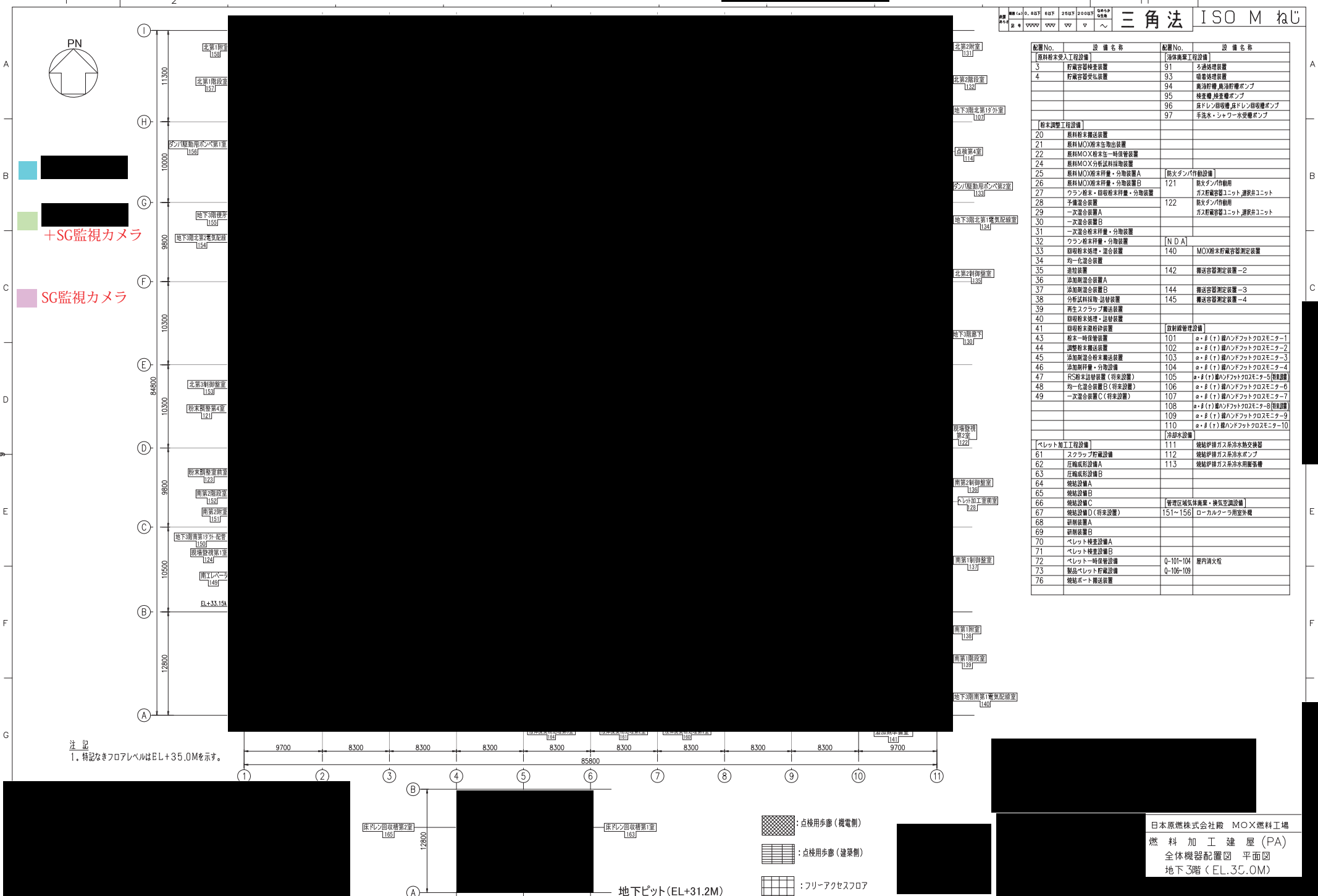
配置No.	設備名称
[梱包・出荷工程設備]	
1	梱包天井クレーン
2	保管室天井クレーン
[共通設備]	
11	設備搬入用クレーン
[管理区域気体廃棄・換気空調設備]	
21	冷却塔
[非管理区域換気空調設備]	
31	常用電気第1室パッケージ屋外機
32	非管理区域マルチパッケージ屋外機
33	監視室等マルチパッケージ屋外機

本資料の一部には、核物質防護上の
 機密事項が含まれており、
 第三者への開示はしないでください。

日本原燃株式会社 燃 MOX燃料工場
 燃料加工建屋(PA)
 全体機器配置図 平面図
 塔屋階(FL.70.2M)

燃料加工建屋に設置するSG設備 塔屋階(7/7)

注) 一時的に設置する設備・装置は除く。また、現場合わせて設置場所が確定する監視カメラ、IDカメラ等も本図から除く。



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
3	貯蔵容器検査装置	91	ろ過処理装置
4	貯蔵容器受払装置	93	吸着処理装置
		94	廃液貯槽、廃液貯槽ポンプ
		95	検査槽、検査槽ポンプ
		96	床ドレン回収槽、床ドレン回収槽ポンプ
		97	手洗い・シャワー水受槽ポンプ
粉未調整工程設備			
20	原料粉未搬送装置		
21	原料MOX粉未取出装置		
22	原料MOX粉未一時保管装置		
24	原料MOX分析試料採取装置		
25	原料MOX粉未秤量・分取装置A	121	粉火ダンバ作動装置
26	原料MOX粉未秤量・分取装置B		
27	ウラン粉未・回収粉未秤量・分取装置	122	ガス貯蔵容器ユニット 選択弁ユニット
28	予備混合装置		
29	一次混合装置A		
30	一次混合装置B		
31	一次混合粉未秤量・分取装置		
32	ウラン粉未秤量・分取装置	[N D A]	
33	回収粉未処理・混合装置	140	MOX粉未貯蔵容器測定装置
34	均一化混合装置		
35	選粒装置	142	搬送容器測定装置-2
36	添加混合装置A		
37	添加混合装置B	144	搬送容器測定装置-3
38	分析試料採取・送替装置	145	搬送容器測定装置-4
39	再生スクラップ搬送装置		
40	回収粉未処理・送替装置		
41	回収粉未微粉砕装置		
43	粉未一時保管装置	101	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-1
44	調整粉未搬送装置	102	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-2
45	添加混合粉未搬送装置	103	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-3
46	添加粉未秤量・分取装置	104	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-4
47	RS粉未送替装置 (将来設置)	105	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-5 (仮設置)
48	均一化混合装置B (将来設置)	106	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-6
49	一次混合装置C (将来設置)	107	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-7
		108	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-8 (仮設置)
		109	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-9
		110	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-10
[冷卻水設備]			
61	スクラップ貯蔵設備	111	焼結炉排ガス系冷水熱交換器
62	圧縮成形設備A	112	焼結炉排ガス系冷水ポンプ
63	圧縮成形設備B	113	焼結炉排ガス系浄水用圧縮機
64	焼結設備A		
65	焼結設備B		
66	焼結設備C (将来設置)		
67	焼結設備D (将来設置)	151~156	ローカルクーラ用室外機
68	研削装置A		
69	研削装置B		
70	ベレット検査設備A		
71	ベレット検査設備B		
72	ベレット一時保管設備	0-101-104	屑内消火栓
73	製品ベレット貯蔵設備	0-106-109	
76	焼結ポート搬送装置		

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+35.0Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電制)
- : 点検用歩廊 (建築制)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 MOX燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地下3階 (EL.35.0M)

燃料加工建屋 (地下3階)



三角法 ISO M ねじ

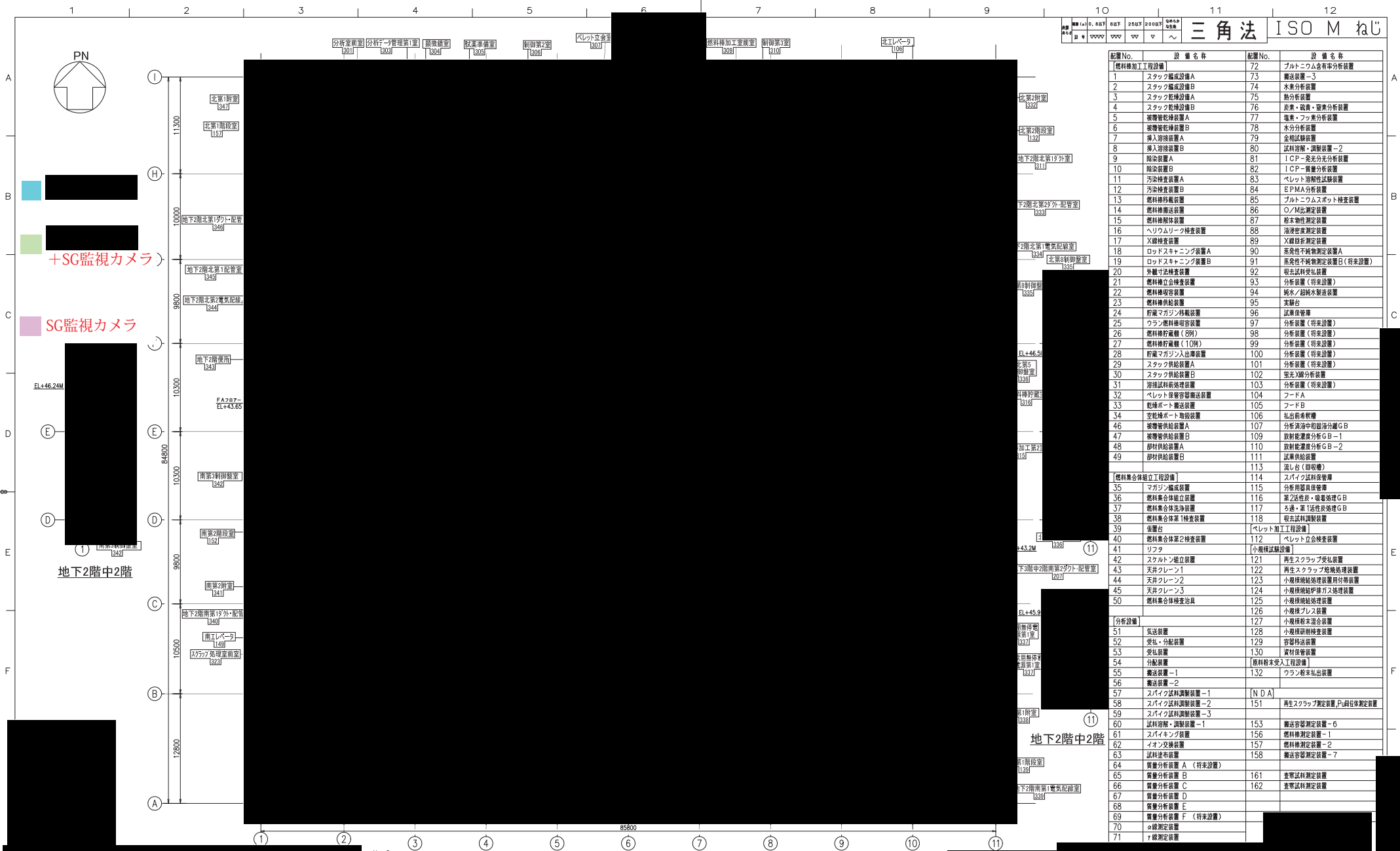
配置No.	設備名称
[原料粉未受入工程設備]	
1	搬送機送台車
2	保管室クレーン
3	一時待機ピット
5	受渡ピット
6	受渡天井クレーン
[粉未調整工程設備]	
12	原料粉未搬送装置
[ペレット加工工程設備]	
14	プレス装置A(粉未調整部)
15	プレス装置B(粉未調整部)
16	焼結ポート搬送装置
17	ペレット保管容器搬送装置
18	空焼結ポート取扱装置
19	回収粉未容器搬送装置
20	焼結炉A排ガス処理装置
21	焼結炉B排ガス処理装置
22	焼結炉C排ガス処理装置
[N D A]	
30	搬送容器測定装置-8
31	搬送容器測定装置-5
32	搬送容器測定装置-9
[浴槽構築工程設備]	
51	手洗水・シャワー水受槽
[防火ダンパ作動設備]	
61	防火ダンパ作動用運転弁ユニット
62	防火ダンパ作動用運転弁ユニット
Q-202	屋内消火栓

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+38.3Mを示す。

- :点検用歩廊(機電制)
- :点検用歩廊(建築制)
- :フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 MOX燃料工場
燃料加工建屋(PA)
全体機器配置図 平面図
地下3階中2階(EL.38.3M)

燃料加工建屋 (地下3階中2階)



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
1	燃料検査室	72	燃料搬入室
2	燃料搬入室	73	燃料搬出室
3	燃料搬出室	74	燃料貯蔵室
4	燃料貯蔵室	75	燃料処理室
5	燃料処理室	76	燃料廃棄室
6	燃料廃棄室	77	燃料回収室
7	燃料回収室	78	燃料洗浄室
8	燃料洗浄室	79	燃料乾燥室
9	燃料乾燥室	80	燃料冷却室
10	燃料冷却室	81	燃料加熱室
11	燃料加熱室	82	燃料混合室
12	燃料混合室	83	燃料分離室
13	燃料分離室	84	燃料濃縮室
14	燃料濃縮室	85	燃料脱酸室
15	燃料脱酸室	86	燃料脱色室
16	燃料脱色室	87	燃料脱臭室
17	燃料脱臭室	88	燃料脱塩室
18	燃料脱塩室	89	燃料脱糖室
19	燃料脱糖室	90	燃料脱脂室
20	燃料脱脂室	91	燃料脱水室
21	燃料脱水室	92	燃料脱泥室
22	燃料脱泥室	93	燃料脱砂室
23	燃料脱砂室	94	燃料脱石室
24	燃料脱鉄室	95	燃料脱銅室
25	燃料脱鉛室	96	燃料脱錫室
26	燃料脱鉍室	97	燃料脱碲室
27	燃料脱鉬室	98	燃料脱銀室
28	燃料脱金室	99	燃料脱鉄室
29	燃料脱金室	100	燃料脱鉄室
30	燃料脱鉄室	101	燃料脱鉄室
31	燃料脱鉄室	102	燃料脱鉄室
32	燃料脱鉄室	103	燃料脱鉄室
33	燃料脱鉄室	104	燃料脱鉄室
34	燃料脱鉄室	105	燃料脱鉄室
35	燃料脱鉄室	106	燃料脱鉄室
36	燃料脱鉄室	107	燃料脱鉄室
37	燃料脱鉄室	108	燃料脱鉄室
38	燃料脱鉄室	109	燃料脱鉄室
39	燃料脱鉄室	110	燃料脱鉄室
40	燃料脱鉄室	111	燃料脱鉄室
41	燃料脱鉄室	112	燃料脱鉄室
42	燃料脱鉄室	113	燃料脱鉄室
43	燃料脱鉄室	114	燃料脱鉄室
44	燃料脱鉄室	115	燃料脱鉄室
45	燃料脱鉄室	116	燃料脱鉄室
46	燃料脱鉄室	117	燃料脱鉄室
47	燃料脱鉄室	118	燃料脱鉄室
48	燃料脱鉄室	119	燃料脱鉄室
49	燃料脱鉄室	120	燃料脱鉄室
50	燃料脱鉄室	121	燃料脱鉄室
51	燃料脱鉄室	122	燃料脱鉄室
52	燃料脱鉄室	123	燃料脱鉄室
53	燃料脱鉄室	124	燃料脱鉄室
54	燃料脱鉄室	125	燃料脱鉄室
55	燃料脱鉄室	126	燃料脱鉄室
56	燃料脱鉄室	127	燃料脱鉄室
57	燃料脱鉄室	128	燃料脱鉄室
58	燃料脱鉄室	129	燃料脱鉄室
59	燃料脱鉄室	130	燃料脱鉄室
60	燃料脱鉄室	131	燃料脱鉄室
61	燃料脱鉄室	132	燃料脱鉄室
62	燃料脱鉄室	133	燃料脱鉄室
63	燃料脱鉄室	134	燃料脱鉄室
64	燃料脱鉄室	135	燃料脱鉄室
65	燃料脱鉄室	136	燃料脱鉄室
66	燃料脱鉄室	137	燃料脱鉄室
67	燃料脱鉄室	138	燃料脱鉄室
68	燃料脱鉄室	139	燃料脱鉄室
69	燃料脱鉄室	140	燃料脱鉄室
70	燃料脱鉄室	141	燃料脱鉄室
71	燃料脱鉄室	142	燃料脱鉄室

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+43.2Mを示す。

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
191	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-11	197	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-17	201~209	ローカルアラーム装置
192	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-12	198	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-18		
193	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-13	199	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-19		
194	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-14				
195	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-15			0-301~304	屋内消火栓
196	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-16	171	南第1電動ハッチ	0-306~309	

- 点検用歩廊 (機電側)
- 点検用歩廊 (建築側)
- フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料加工建屋 (PA) 全体機器配置図 平面図 地下2階 (FL+43.2M)

燃料加工建屋 (地下2階)



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
【燃料集合体組立工程設備】			
1	燃料集合体立上げ検査装置	93	固体廃棄物選別装置
2	燃料集合体用行蔵チャンネル	95	分析スクラップ後管GB(将来設置)
		97	フォークリフト
		98	封入容器保管槽
		99	分析スクラップ後管GB(将来設置)
【梱包・出荷 工程設備】			
12	燃料ホルダ取付装置		
13	搬立クレーン		電力供給設備
14	輸送容器点検架台	100	燃料移送ポンプ
15	梱包準備室天井クレーン1	101	燃料油貯蔵タンク
16	梱包準備室天井クレーン2		
17	電動式搬送路しゃべい席		
18	梱包室保守用天井クレーン		
【放射線管理設備】			
		121	排気用サンプリング
		122	サンプリングポンプユニット
		123	α・β(γ)線ハンドアウトクロスモニター
【燃料精加工工程設備】			
21	オートクレープ試験機		
22	バース試験機		
23	全相試験設備		
24	洗し台(自吸槽)		
【燃料粉末受入工程設備】			
		151	燃料集合体測定装置
		152	固体廃棄物測定装置-1
		153	固体廃棄物測定装置-2
41	ウラン粉末受入 出庫装置		
42	ウラン粉末受入 移載装置		
43	ウラン貯蔵槽		
44	ウラン粉末受入 移載装置		
45	ウラン粉末受入 移載装置-時保管エリア		共通設備
		171	南第2電動ハッチ
【管理区域 換気空調設備】			
			【空室消火設備】
61	給排気機	181	固定式ガス滅火 消火ガス貯蔵容器ユニット、減圧装置ユニット
62	工程室排気機	182	GB消火 消火ガス貯蔵容器ユニット、選別ユニット
63	グローブボックス排気機	183	選別ガス消火設備 消火ガス貯蔵容器ユニット、選別ユニット
64	給排気フィルタユニット(C1系)		
65	給排気フィルタユニット(C2系)		
66	グローブボックス排気フィルタユニット		
67	工程室排気フィルタユニット		
68	空室循環ファン		
69	空室循環冷却器		
【非管理区域 換気空調設備】			
			【強制停止タンク駆動設備】
70	蒸気器水櫃	201	可搬型重大事故等対処設備-1
71	蒸気器水櫃ポンプ	202	可搬型重大事故等対処設備-2
		203	可搬型重大事故等対処設備-3
【冷却設備】			
81	焼結炉系冷水熱交換器		
82	焼結炉系冷水ポンプ	0-401-404	屋内消火栓
83	焼結炉系冷水用貯留槽	0-407-410	
84	焼結炉系純水製造装置		

- +SG監視カメラ
- SG監視カメラ
- 点検用歩廊(機電制)
- 点検用歩廊(建築制)
- フリーアクセスフロア

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+50.3Mを示す。

日本原燃株式会社 MOX燃料工場
燃料加工建屋(PA)
全体機器配置図 平面図
地下1階(FL+50.3M)

燃料加工建屋 (地下1階)



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称
【共通設備】	
1	入出庫クレーン
【梱包・出荷 工程設備】	
11	容器移動装置
12	貯蔵梱包クレーン
13	輸送用容器
14	しゃい童/しゃい童支持装置
15	容器置取付装置
17	輸送容器 トラック
18	ガイド管
【電力供給設備】	
21	非常用所内電源設備 (非常用バスタービン発電機)
22	非常用蓄電池
【放射線管理設備】	
31	放射能試料自動測定装置
32	α線用検体分析装置
33	γ線用検体分析装置
34	多試料型放射能測定装置
35	液体シンチレーションカウンタ
36	フード
37	入出庫管理装置
38	進出モニタ (体表面モニタ)
39	出入監視窓-1
43	出入管理計算機サーバ端末-1
44	出入管理計算機サーバ端末-2
50	フード
51	流し台 (目録機)
52	器具乾燥機
53	乾燥機
54	搬送型入出庫管理装置
55	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-22~24
56	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-21
57	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-25,26 (搬送機)
58	出入監視窓-2
【液体廃棄設備】	
71	実験台
72	全量分析装置
73	ドラフトチャンバー
75	ICP発光分光分析装置
76	イオンクロマトグラフ装置
77	輸送容器保管用空調機器 ドレン回収機
【ユーティリティ設備 (ガス消火設備)】	
81	二酸化炭素貯蔵容器ユニット 選択弁ユニット
【ユーティリティ設備 (ガス検知設備)】	
111	水素-フルゴン混合ガス設備 (混合ガス受槽)
112	水素-フルゴン混合ガス設備 (ガスバルユニット)
121	ウラン輸送容器一時保管エリア
0-501-514	屋内消火栓

+SG監視カメラ

SG監視カメラ

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+56.8Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電制)
- : 点検用歩廊 (建築制)
- : フリーアクセスフロア

燃料加工建屋 (地上1階)

日本原燃株式会社 燃 MOX燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地上1階 (EL+56.8M)



配機No.	設備名称
【電力供給設備】	
2	給気ファン
4	排気ファン
5	給気フィルタユニット
【管理区域気体廃棄・換気空調設備】	
11	給気フィルタユニット
12	送風機
13	C1,C2系コイルユニット
14	加温系コイルユニット
15	C3系コイルユニット
16	冷却系 コイルユニット
17	冷却水系配管機
18	循環空素冷却用冷凍機
19	循環空素冷却用冷水ポンプ
20	ローカルクーラ用冷凍機
21	ローカルクーラ用冷水ポンプ
23	ローカルクーラ冷水系配管機
【非管理区域換気空調設備】	
31	非管理区域外調機
32	非管理区域給気フィルタユニット
33	非管理区域排風機
34	空調用低気安全弁サイレンサ
【非常用電気A送風機】	
46	非常用電気A送風機
47	非常用電気A送風機
【非常用電気B送風機】	
49	非常用電気B送風機
50	非常用電気B送風機
【非常用電気C送風機】	
52	非常用電気C送風機
54	非管理区域排風機
【中央監視室排風機】	
56	中央監視室排風機
57	非管理区域送風機
58	中央監視室送風機
59	中央監視室給気フィルタユニット
【固体廃棄設備】	
61	角型容器A
62	ドラム缶
63	フォークリフト
64	廃棄物保管設備搬送機
【共通設備】	
104	箱蓋3ハッチ
105	設備入口電動ハッチ
106	箱蓋電動ハッチ
107	輸送容器検査室電動ハッチ
【圧縮空気供給設備】	
121	呼吸用空気貯槽
【燃料棒加工工程設備】	
131	燃料棒受入一時保管エリア
【G B消火設備】	
【ドレン設備】	
151	掃除用流し
【可搬型重大事故等対応設備】	
161	可搬型重大事故等対応設備-4
162	可搬型重大事故等対応設備-5
163	可搬型重大事故等対応設備-6
164	可搬型重大事故等対応設備-7
Q-601~607	屋内消火栓

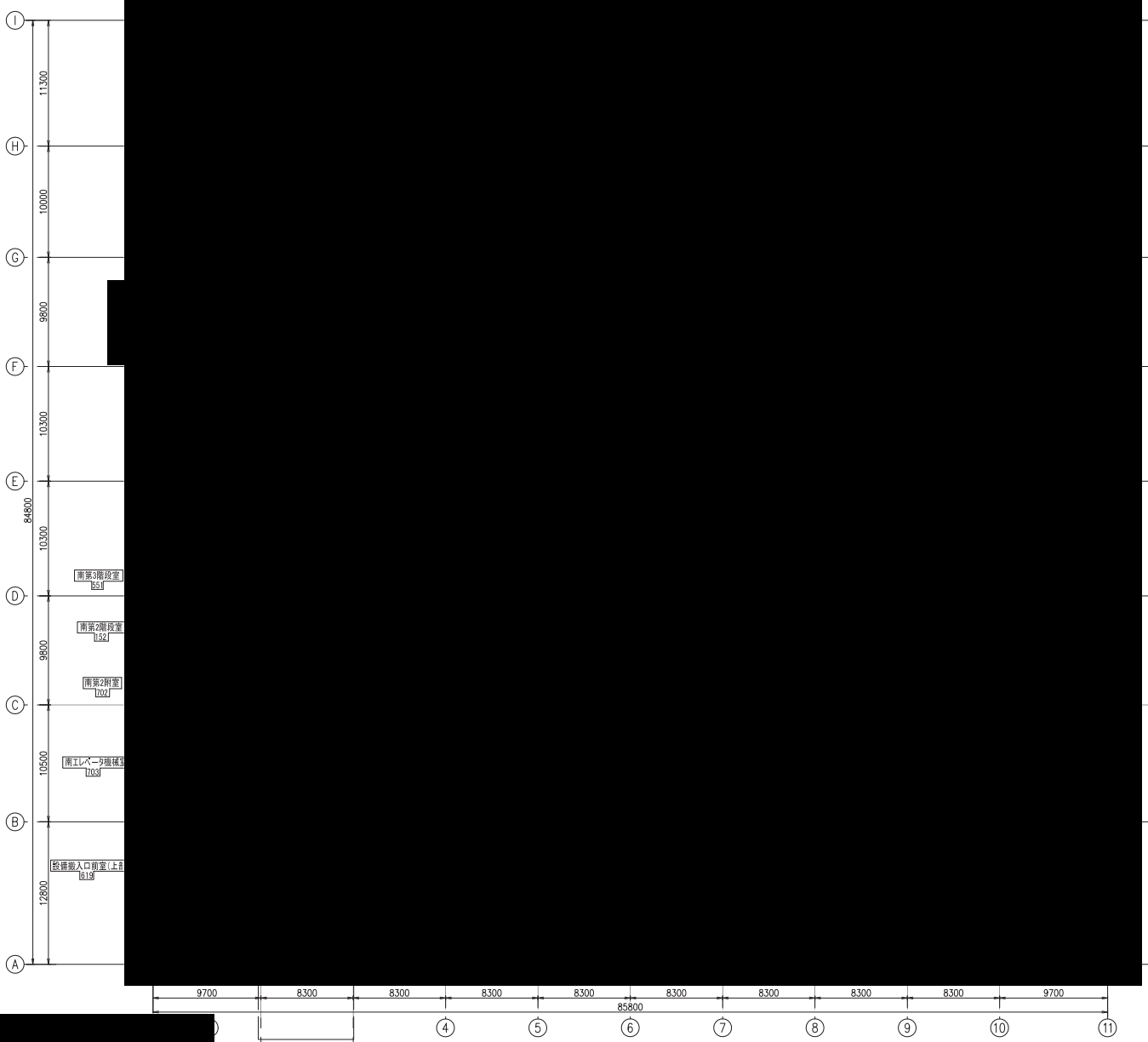
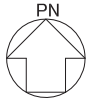
■ SG監視カメラ
 ■ SG監視カメラ

注記
 1. 特記なきフロアレベルはEL+62.8Mを示す。

■ :点検用歩廊(機電制)
 ■ :点検用歩廊(建築制)
 ■ :フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃 MOX燃料工場
 燃料加工建屋(PA)
 全体機器配置図 平面図
 地上2階(EL.62.8M)

燃料加工建屋 (地上2階)



配置No.	設備名称
[機位・出荷工設備]	
1	梱包天井クレーン
2	保管室天井クレーン
[共通設備]	
11	設備搬入用クレーン
[管理区域気体濃度・換気空調設備]	
21	冷却塔
[非管理区域換気空調設備]	
31	常用電気室1室/パッケージ層外機
32	非管理区域マルチパッケージ層外機
33	監視室等マルチパッケージ層外機

- +SG監視カメラ
- SG監視カメラ

注記
 1. 特記なきフロアレベルはEL+70.2Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電制)
- : 点検用歩廊 (建築制)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料加工建屋 (PA)
 全体機器配置図 平面図
 塔屋階 (EL 70.2M)

燃料加工建屋 (塔屋階)

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分						機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足	
262	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	挿入溶接装置(被覆管取扱部)グローブボ ックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている[]の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
263	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	挿入溶接装置(スタック取扱部)グローブボ ックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている[]の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
264	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	挿入溶接装置(燃料棒取扱部)グローブボ ックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている[]の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
265	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	挿入溶接装置	機械装置	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
266	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	除染装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている[]の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
267	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	除染装置	機械装置	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
268	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	汚染検査装置オープンポートボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている[]の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
269	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	汚染検査装置	機械装置	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
270	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	ヘリウムリーク検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている[]の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
271	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	γ線検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている[]の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足
272	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OSG ██████████ SG ██████████ PP ██████████	<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ██████████ の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界の放射線量を検出可能な設計とする（SG：██████████）。</p> <p>・安全機能を有する施設の運転に影響しないように安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じて、誤挿しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG：██████████）</p>	②	
273	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OSG ██████████ SG ██████████ PP ██████████	<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ██████████ の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界の放射線量を検出可能な設計とする（SG：██████████）。</p> <p>・安全機能を有する施設の運転に影響しないように安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じて、誤挿しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG：██████████）</p>	②	
274	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※ゾートは 安重	OSG ██████████ PP ██████████	<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ██████████ の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。（PP設備、SG設備）</p>	—	
275	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※ゾートは 安重	OSG ██████████ PP ██████████	<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ██████████ の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。（PP設備、SG設備）</p>	—	
276	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OSG ██████████ PP ██████████	<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ██████████ の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。（PP設備、SG設備）</p>	—	
277	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OSG ██████████ SG ██████████ PP ██████████	<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ██████████ の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界の放射線量を検出可能な設計とする（SG：██████████）。</p> <p>・安全機能を有する施設の運転に影響しないように安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。（PP設備、SG設備）</p> <p>・安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じて、誤挿しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG：██████████）</p>	③	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分					機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	変更区分	D B区分	S A区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足			
278	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒収容 設備	—	—	燃料棒供給装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全 室	—	B, B-1/—	—	—	※ゲートは 安全	—	OSG ██████ OSG ██████ OPP ██████ が ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	燃料棒供給装置は、メンテナンスに影響がない 設計計画箇所のスペース(燃料棒供給装置 のメンテナンスが必要なスペース)を確保する 設計とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物 質、搬送速度等)で、保護層上要求される検出 限界の放射線量を検出可能な設計とする(SG -)。 ・安全機能を有する施設に影響しないよう に安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。安全機能を ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続 して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG 設備) ・安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備 を不用意に破損することがない配置とする。また、 必要に応じて、詰りしにくい構造(封印カバー等) とする。(SG-)	③	
279	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒収容 設備	—	—	貯蔵マガジン移動装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全 室	—	B, B-1/—	—	—	—	—	OSG ██████ OSG ██████ OPP ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続 して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG 設備)	—	
280	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	燃料棒搬入オープンポートボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全 室	—	C/—	—	—	—	—	OSG ██████ OSG ██████ OPP ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続 して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG 設備)	—	
281	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	燃料棒解体装置グロブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全 室	—	B-1/—	—	—	—	—	OSG ██████ OSG ██████ OPP ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続 して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG 設備)	—	
282	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	燃料棒解体装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全 室	—	B-1/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
283	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	溶接試料前処理装置オープンポートボッ クス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全 室	—	C/—	—	—	—	—	—	OPP ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続 して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—
284	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	溶接試料前処理装置グロブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全 室	—	C/—	—	—	—	—	—	OPP ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続 して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—
285	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	溶接試料前処理装置	—	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全 室	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足			
293	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	—	—	ベレット保管容器搬送装置グループボック ス-8	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—	—	—	—	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルート設計とする。(PP設備, SG 設備) 安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備 を不意に接触することがない配置とする。また、 必要に応じて、破損しにくい構造(封印カバー等) とする。(SG: LC-15B) 	—	
294	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	—	—	ベレット保管容器搬送装置グループボック ス-9	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルート設計とする。(PP設備, SG 設備) 	—
295	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	—	—	ベレット保管容器搬送装置グループボック ス-10	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルート設計とする。(PP設備, SG 設備) 	—
296	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	—	—	ベレット保管容器搬送装置グループボック ス-11	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルート設計とする。(PP設備, SG 設備) 	—
297	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	—	—	ベレット保管容器搬送装置グループボック ス-12	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルート設計とする。(PP設備, SG 設備) 	—
298	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	—	—	ベレット保管容器搬送装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) 	—
299	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	—	—	乾燥ボート搬送装置グループボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルート設計とする。(PP設備, SG 設備) 	—
300	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	—	—	乾燥ボート搬送装置グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルート設計とする。(PP設備, SG 設備) 	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分						機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足
		燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立設備	燃料集合体 組立設備	燃料集合体 組立設備	燃料集合体 組立設備	燃料集合体 組立設備																	
315	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立設備	—	—	—	マガジン編成装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG ■■■ (マガジン 編成装置の機器である 洗浄機架台から支持) OPP ■■■	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ■■■ の視界を遮らない計画とする。 機器上 ■■■ を設置可能であり、互いに干渉しないスペースを確保する設計とする。 ■■■ の設置機器について、■■■ を設置しても問題の無い強度を有する設計とする。 査察機器と一体となっている機器より査察機器を取り外してメンテナンスが可能設計とする。 マガジン編成装置の耐震設計上の評価条件として ■■■ の負荷を考慮した設計とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	⑥	
316	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立設備	—	—	—	組立マガジン	運搬・製品容器	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	—/—	—	—	—	OSG ■■■ OPP ■■■	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ■■■ の視界を遮らない計画とする。 設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ■■■ の視界を遮らない計画とする。 【メンテナンス時】 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	—		
317	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立設備	—	—	—	スケルトン組立装置	—	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	OPP ■■■	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ■■■ の視界を遮らない計画とする。 【メンテナンス時】 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	—		
318	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立設備	—	—	—	燃料集合体組立装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OPP ■■■	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ■■■ の視界を遮らない計画とする。 【メンテナンス時】 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	—		
319	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 検査設備	—	—	—	燃料集合体洗浄装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG ■■■ OPP ■■■	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ■■■ の視界を遮らない計画とする。 【メンテナンス時】 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	—		
320	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 検査設備	—	—	—	燃料集合体第1検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG ■■■ OPP ■■■	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ■■■ の視界を遮らない計画とする。 【メンテナンス時】 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	—		
321	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 検査設備	—	—	—	燃料集合体第2検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG ■■■ OPP ■■■	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ■■■ の視界を遮らない計画とする。 【メンテナンス時】 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	—		

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分					機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時、メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時、メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足	
322	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 検査設備	—	—	燃料集合体取置台	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備、SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備、SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備、SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備、SG設備)	—
323	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 検査設備	—	—	燃料集合体立会検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	—
324	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立工程搬送設備	—	—	組立クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備、SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備、SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	—
325	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立工程搬送設備	—	—	リフト	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG OSG: 査察現場キャビネット (LC-21B, LC-21A) OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・通常時及びメンテナンス時に査察設備に干渉しないスペースを確保できる設計とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出限界の原料検査を検出可能な設計とする。(SG-) ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備、SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備、SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	⑦
326	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工程	梱包・出荷設備	—	—	貯蔵梱包クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・通常時及びメンテナンス時に査察設備に干渉しないスペースを確保できる設計とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出限界の原料検査を検出可能な設計とする。(SG-) ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	⑧
327	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工程	梱包・出荷設備	—	—	燃料ホルダ取付装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分					機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP,SG設備設置状況	PP,SG設備の設計方針	通常時、メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時、メンテナンス時における考慮 (PP,SG)	補足	
328	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包・出荷 設備	—	—	—	容器蓋取付装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B/-	—	—	OSG OSG OSG OSG OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・通常時及びメンテナンス時に装置設備に干渉し ないスペースを確保できる設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	⑤
329	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包・出荷 設備	—	—	—	梱包天井クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/-	—	—	OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	—	
330	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包・出荷 設備	—	—	—	容器移載装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/-	—	—	OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	—	
331	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包・出荷 設備	—	—	—	保管室天井クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	—	
332	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包・出荷 設備	—	—	—	遮蔽扉(梱包・出荷設備)	遮蔽設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	—	
333	核燃料物質 の貯蔵施設	—	貯蔵容器一 時保管設備	—	—	—	—	一時保管ピット	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	B-3/-	—	—	OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	—	
336	核燃料物質 の貯蔵施設	—	原料MOX粉 末出一時保 管設備	—	—	—	—	原料MOX粉末出一時保管装置グローブボック ス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	安全	—	S/-	—	—	OPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさない よう落下及び転倒範囲に上位クラス機器 が入らない場所に設置する又は落下防止 措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—	
337	核燃料物質 の貯蔵施設	—	原料MOX粉 末出一時保 管設備	—	—	—	—	原料MOX粉末出一時保管装置	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-2	新設	安全	—	B-1, B-2, B-3/-	—	—	—	—	—	—	—	—
338	核燃料物質 の貯蔵施設	—	原料MOX粉 末出一時保 管設備	—	—	—	—	原料MOX粉末出一時保管搬送装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1, B-2/ —	—	—	—	—	—	—	—	—
339	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ウラン貯蔵 設備	—	—	—	—	ウラン貯蔵棚	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/-	—	—	—	—	—	—	—	—
340	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ウラン貯蔵 設備	—	—	—	—	ウラン粉末出入貯蔵容器	—	燃料加工建屋	128	2-2	新設	非安全	—	—/-	—	—	—	—	—	—	—	—
341	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ウラン貯蔵 設備	—	—	—	—	ウラン粉末出入出庫装置	—	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—	—
342	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ウラン貯蔵 設備	—	—	—	—	収納パレット	—	燃料加工建屋	676	2-2	新設	非安全	—	—/-	—	—	—	—	—	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足
367	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	容器(1缶バケット)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—/—	—	—	—	—	—	—	—	—
368	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	容器(CS-RS保管ポット)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	1944	2-1	新設	非安全	—	—/—	注:粉末一時保管設備 主:スクラップ貯蔵設備	—	—	—	—	—	—	—
369	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	容器(CS-RS回収ポット)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	—/—	—	—	—	—	—	—	—	—
370	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	容器(先試験ポット)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	—/—	—	—	—	—	—	—	—	—
371	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚グループボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備)	—	
372	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—
373	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚グループボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—
374	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚-1	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—
375	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚-2	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—
376	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚-3	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—
377	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚-1	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	B-1, B-2/—	—	—	—	—	—	—	—	—
378	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚-2	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	B-1, B-2/—	—	—	—	—	—	—	—	—
379	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚グループボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—
380	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—
381	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管棚グループボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備)	【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足
382	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置グロブボックス-4	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG ██████████ CPP ██████████	<p>██████████は、ミクラスとなるグロブボックスに波及的影響を及ぼさないよう、基準地震動Ssの地震力にて、影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>██████████は、周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・通常時においては、近接しているグロブボックスに対して、干渉しない設計とする。</p> <p>・焼結ボート受渡装置グロブボックスの本体及び内装機器の点検、保守を行う上で、██████████は干渉しない配置設計としているため、査察機器の機能を損なうことはない。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている██████████の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	⑧
383	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-1	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
384	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-2	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
385	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-3	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
386	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-4	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
387	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-5	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
388	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-6	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
389	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-7	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
390	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-8	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
391	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	収納パレット-1	運搬・製品容器	燃料加工建屋	188	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
392	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	収納パレット-2	運搬・製品容器	燃料加工建屋	4	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
393	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	容器(焼結ボート)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	192	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
394	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	容器(先行試験焼結ボート)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	3	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
395	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	容器(スクラップ焼結ボート)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	6	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
396	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	容器(規格外ベレット保管容器)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	10 ※	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
397	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	遮蔽扉(ベレット一時保管設備)	遮蔽設備	燃料加工建屋	2	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
398	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚グロブボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG ██████████ CPP ██████████	<p>・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている██████████の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	-
399	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚グロブボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG ██████████ CPP ██████████	<p>・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている██████████の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	-
400	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚グロブボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG ██████████ CPP ██████████	<p>・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている██████████の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	-
401	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚グロブボックス-4	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG ██████████ CPP ██████████	<p>・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている██████████の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	-

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足	
402	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵機-5	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
403	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵機-1	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
404	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵機-2	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
405	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵機-3	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
406	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵機-4	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
407	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵機-5	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
408	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器入出庫装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
409	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置グループボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・通常時においては、近接しているグループボックスに対して、干渉しない設計とする。 ・スクラップ保管容器受渡装置グループボックスの本体及び内装機器の点検、保守を行う上で、は干渉しない配置設計としているため、査察機器の機能を損なうことはない。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
410	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
411	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置-1	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
412	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置-2	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
413	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	収納パレット	運搬・製品容器	燃料加工建屋	210	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
414	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	容器(パレット保管容器)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	297 ※	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
415	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	容器(9出バスケット)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	204	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
416	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	容器(規格外パレット保管容器)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	10	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
417	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	容器(CS-RS保管ボット)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	1944 ※	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
418	核燃料物質 の貯蔵施設	製品パレット 貯蔵設備	製品パレット貯蔵機グループボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
419	核燃料物質 の貯蔵施設	製品パレット 貯蔵設備	製品パレット貯蔵機グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足
420	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚グループボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
421	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚グループボックス-4	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
422	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚グループボックス-5	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
423	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚-1	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-
424	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚-2	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-
425	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚-3	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-
426	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚-4	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-
427	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	製品ペレット貯蔵棚-5	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-
428	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器入庫装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-
429	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装置グループボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
430	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装置グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
431	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装置-1	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
432	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	ペレット保管容器受渡装置-2	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
433	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	収納パレット	運搬・製品容器	燃料加工建屋	350	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
434	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	容器(ペレット保管容器)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	297	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
435	核燃料物質 の貯蔵施設	製品ペレット貯蔵設備	容器(ペレット保存試験保管容器)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	53	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
436	核燃料物質 の貯蔵施設	燃料種貯蔵設備	燃料種貯蔵棚-1	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	B, B-3/-	-	-	-	OSG CPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分						機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足			
437	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	—	燃料棒貯蔵機-2	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	B, B-3/—	—	—	—	—	OSG — CPP —	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている設備の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	—		
438	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	—	貯蔵マガジン入庫装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	—	B-1/—	—	—	—	—	OSG — CPP —	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている設備の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	—		
439	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	—	クラン燃料棒収容装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	OSG — CPP — SG —	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている設備の視界を遮らない計画とする。	クラン燃料棒収容装置は、設置計画箇所にはメンテナンス品が存在しないことから、影響は無い設計となっている。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出境界の放射線量を検出可能な設計とする(■)。 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出境界の放射線量を検出可能な設計とする(■)。 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	①	
440	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	—	遮蔽層(燃料棒貯蔵設備)	遮蔽設備	燃料加工建屋	3	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	OSG — CPP — SG —	主: 燃料棒貯蔵設備 従: 火災防護設備	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている設備の視界を遮らない計画とする。	遮蔽層(燃料棒貯蔵設備)が設置できるスペースを確保する設計とする。なお、遮蔽層が遮蔽層の下に設置される場合、下方には遮蔽層の駆動部やレール、センサが設置されていることからメンテナンスを考慮した設計を具体化する。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出境界の放射線量を検出可能な設計とする(■)。 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出境界の放射線量を検出可能な設計とする(■)。 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	①
441	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料集合体 貯蔵設備	—	—	—	燃料集合体貯蔵チャンネル	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	220	2-2	新設	安重	—	B-1, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
442	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料集合体 貯蔵設備	—	—	—	遮蔽蓋(燃料集合体貯蔵設備)	遮蔽設備	燃料加工建屋	265	2-2	新設	非安重	—	—/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
443	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料集合体 貯蔵設備	—	—	—	遮蔽蓋支持架台	遮蔽設備	燃料加工建屋	4	2-2	新設	非安重	—	B/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
448	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	主配管(常設)(建屋排気系)	主配管	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
449	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	C1区域用建屋排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	3	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
450	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	C2区域用建屋排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	23	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
451	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	建屋排気機	ファン	燃料加工建屋	3	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
452	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	主配管(常設)(工程室排気系)	主配管	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	安重/非安重	—	S/— C/—※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
453	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	工程室排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	11	2-2	新設	安重	—	S/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
454	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	工程室排気機	ファン	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安重	—	C/—※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足
455	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	工程室排気設備	—	工程室排風機入口手動ダンパ	2	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
456	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	グローブボックス排気設備	主配管 (常設) (グローブボックス排気系)	主配管	1式	2-2	新設	安重/非安重	—	S/— B-1/— C/—※	—	—	※可搬型ダンパ出口風速抑制口分岐部から排気筒 (燃料加工建屋) までの範囲は、基準地震動 Ss の 1.2 倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。	—	—	—	—	—
457	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	フィルタ	162	2-2	新設	安重/非安重	—	S/— B/— C/—	—	—	技術基準規則 第三章「重大事故等対象施設」の適合性は、外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—
458	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	フィルタ	235	2-2	新設	安重/非安重	—	S/— B/— B-1/— C/—	—	—	技術基準規則 第三章「重大事故等対象施設」の適合性は、外部放出抑制設備及び代替グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—
459	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	グローブボックス排気設備	フィルタ	フィルタ	9	2-2	新設	安重	—	S/—	—	—	技術基準規則 第三章「重大事故等対象施設」の適合性は、外部放出抑制設備にて示す。	—	—	—	—	—
460	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	グローブボックス排気設備	ファン	ファン	2	2-2	新設	安重	—	S/—※	—	—	※基準地震動 Ss の 1.2 倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。	—	—	—	—	—
461	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	グローブボックス排気設備	—	グローブボックス排風機入口手動ダンパ	2	2-2	新設	安重	—	S/—	—	—	技術基準規則 第三章「重大事故等対象施設」の適合性は、外部放出抑制設備にて示す。	—	—	—	—	—
462	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	給気設備	—	給気設備	1式	2-2	新設	非安重	—	C/—※	—	—	※5クラスGBを設置している工程室から遊止ダンパまでの範囲は、基準地震動 Ss の 1.2 倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。	—	—	—	—	—
463	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	窒素循環設備	主配管 (窒素循環系)	主配管	1式	2-2	新設	安重	—	B-1, B-4 /—※	—	—	※工程室外に設置される範囲は、基準地震動 Ss の 1.2 倍の地震力においても経路が維持できる設計とする。	—	—	—	—	—
464	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	窒素循環設備	窒素循環ファン	ファン	2	2-2	新設	安重	—	B-4/—※	—	—	※基準地震動 Ss の 1.2 倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。	—	—	—	—	—
465	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	窒素循環設備	窒素循環冷却機	機械装置	2	2-2	新設	安重	—	B-4/—※	—	—	※基準地震動 Ss の 1.2 倍の地震力においても、経路が維持できる設計とする。	—	—	—	—	—
466	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	排気筒	—	排気筒	1	2-2	新設	非安重	—	C-1/—	—	—	技術基準規則 第三章「重大事故等対象施設」の適合性は、排気モニタリング設備にて示す。	—	—	—	—	—
467	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	主配管 (常設) (外部放出抑制系 (グローブボックス))	主配管	1式	2-2	新設	—	常設	—/1.2Ss	—	—	技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分					機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況		通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足	
		放射線 施設	放射性 廃棄物の 廃棄設備	放射性 廃棄物の 廃棄設備	放射性 廃棄物の 廃棄設備	放射性 廃棄物の 廃棄設備													PP	SG				
468	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	燃料加工棟	8 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	
469	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス排気フィルタ	フィルタ	燃料加工棟	16 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
470	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工棟	9 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
471	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	主配管 (常設) (外部放出抑制系 (工程室))	主配管	燃料加工棟	1式	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: 工程室排気設備 従: 外部放出抑制設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、工程室排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
472	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	工程室排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工棟	11 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: 工程室排気設備 従: 外部放出抑制設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、工程室排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
473	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス排気機入口手動ダンパ	—	燃料加工棟	2 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
474	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	工程室排気機入口手動ダンパ	—	燃料加工棟	2 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: 工程室排気設備 従: 外部放出抑制設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、工程室排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
475	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス排気閉止ダンパ	—	燃料加工棟	2	2-2	新設	—	常設	—/(S)※	主: 外部放出抑制設備 従: グローブボックス排気設備の主配管の一部 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
476	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	工程室排気閉止ダンパ	—	燃料加工棟	2	2-2	新設	—	常設	—/(C)※	主: 外部放出抑制設備 従: 工程室排気設備の主配管の一部 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、工程室排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
478	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	代替グローブボックス排気設備	—	—	主配管 (常設) (代替グローブボックス排気系)	主配管	燃料加工棟	1式	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
479	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	代替グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	燃料加工棟	8 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
480	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	代替グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気フィルタ	フィルタ	燃料加工棟	16 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
484	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	イオン系廃液検査槽	容器	燃料加工棟	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
485	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	イオン系廃液検査槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
486	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	固体系廃液検査槽	容器	燃料加工棟	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
487	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	固体系廃液検査槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
488	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	ろ過処理オープンポートボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況		通常時、メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時、メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足	
		液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	放射線													PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針				
489	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	ろ過処理前槽	容器	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
490	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	ろ過処理前槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
491	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	第1ろ過処理装置	ろ過装置	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
492	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	第2ろ過処理装置	ろ過装置	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
493	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	精密ろ過装置	ろ過装置	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
494	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	限外ろ過装置	ろ過装置	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
495	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	ろ過処理後槽	容器	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
496	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	ろ過処理後槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
497	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	吸着処理オープンポートボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
498	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	吸着処理前槽	容器	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
499	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	吸着処理前槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
500	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	吸着処理塔	ろ過装置	燃料加工棟	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
501	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	吸着処理後槽	容器	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
502	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	吸着処理後槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
503	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	廃液貯槽	容器	燃料加工棟	3	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
504	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	廃液貯槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
505	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	主配管(低レベル廃液処理系)	主配管	燃料加工棟	1式	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
575	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	—	大気区域構造物及び大気区画構造物(燃料加工棟)	建物・構築物(大気区域構造物及び大気区画構造物)	燃料加工棟	—	1 2-1※	新設	非安全	—	C/(O)	—	—	—	※第2回に申請する防火扉について 次のとおり。 主：燃料種貯蔵設備 従：大気防護設備	—	—	—	—	—
576	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	—	大気区域構造物及び大気区画構造物(貯蔵容器搬送用洞道)	建物・構築物(大気区域構造物及び大気区画構造物)	貯蔵容器搬送用洞道	—	2-1	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
595	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
596	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
597	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
598	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
599	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
600	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
604	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
605	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
606	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
612	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	大気影響軽減設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
613	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	大気影響軽減設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
614	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	大気影響軽減設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
615	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	大気影響軽減設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分					機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足		
		核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備																					
758	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	気送装置	1式	2-1, 2-2, 3-1※, 3-2※	新設	非安全	—	C, C-1/—	—	—	—	—	OSG ■ CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—	
759	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	受払装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—	
760	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	受払装置	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
761	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	プルトニウムスポット検査装置オープン ポートボックス	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
762	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	フード	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	OSG ■ CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
763	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	受払・分配装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	OSG ■ CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
764	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	試料溶解・調製装置-1グローブボックス-1	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	OSG ■ CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
765	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	試料溶解・調製装置-1グローブボックス-2	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	OSG ■ CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足
787	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	質量分析装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OSG OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-	
788	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	取去試料受払装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OSG OSG: 差取現場キャビネット (LC-200) OSG OPP S S S	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質質量、搬送速度等)で、保障措置上要求される検出限界の放射線量を検出可能な設計とする。 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備を不用意に破損することはない配置とする。また、必要に応じて、防護措置(封印カバー等)とする。(SG: 遮断ケーブル, LC-200)	②	
789	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	取去試料調整装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OSG OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-	
790	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	分配装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-	
791	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	塩素・フッ素分析装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-	
792	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	0/M比測定装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-	
793	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	水分分析装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分				機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足		
		核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備																				
823	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	放射能濃度分析グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	—	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備) 【付注1時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用= 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	
824	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	ろ過・第1活性炭処理グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1, B-2/ —	—	—	—	—	—	—	—	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備) 【付注1時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用= 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)
825	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第2活性炭・吸着処理グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1, B-2/ —	—	—	—	—	—	—	—	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備) 【付注1時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用= 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)
826	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	分析済液中和槽	容器	燃料加工棟屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
827	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	中和ろ過装置	ろ過装置	燃料加工棟屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
828	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	中和ろ過受槽	容器	燃料加工棟屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
829	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	遠心分離処理液受槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
830	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	遠心分離処理液受槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
831	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	ろ過処理供給槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
832	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	ろ過処理供給槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
833	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第1ろ過装置	ろ過装置	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
834	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第2ろ過装置	ろ過装置	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
835	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第2ろ過処理液受槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
836	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第2ろ過処理液受槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
837	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第1活性炭処理供給槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
838	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第1活性炭処理供給槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
839	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第1活性炭処理第1処理塔	ろ過装置	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
840	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第1活性炭処理第2処理塔	ろ過装置	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
841	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第1活性炭処理液受槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
842	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第1活性炭処理液受槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
843	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第2活性炭処理供給槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
844	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第2活性炭処理供給槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
845	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第2活性炭処理塔	ろ過装置	燃料加工棟屋	4	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
846	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第2活性炭処理液受槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—
847	その他の加 工施設	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	—	—	第2活性炭処理液受槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分				機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足		
848	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	吸着処理供給槽	容器	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
849	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	吸着処理供給槽ポンプ	ポンプ	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
850	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	吸着処理塔	ろ過装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
851	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	吸着処理液受槽	容器	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
852	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	希釈槽	容器	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
853	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	吸着処理液受槽ポンプ	ポンプ	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
854	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	引出前希釈槽	容器	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	○PP ■■■■■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないよう、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・盤扉が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定常保守を考慮し、常用・運転予備電源の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—	—
855	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	主配管(分析液処理系)	主配管	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C※/-	—	—	—	—	—	—	—		
856	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	運搬台車	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	-/-	—	—	—	—	—	—	—		
881	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	液体廃棄物処理第3室サンプ液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	3	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
882	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	液体廃棄物処理第1室サンプ液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
883	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	床ドレン回収槽第2室サンプ液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
884	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	床ドレン回収槽第1室サンプ液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
885	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	吸着処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
886	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	ろ過処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
887	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	分析液中和固液分離グローブボックス漏えい液受皿液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	4	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
888	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス漏えい液受皿液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
889	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	第2活性炭・吸着処理グローブボックス漏えい液受皿液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
890	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	引出前希釈槽下部堰内漏えい液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
896	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	冷却水設備	—	—	—	冷却水設備	—	燃料加工建屋	1式	2-1	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
897	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	給排水衛生設備	—	—	—	工業用水設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
900	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	空調用設備	空調用冷水設備	—	—	空調用冷水設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
901	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	空調用設備	空調用蒸気設備	—	—	空調用蒸気設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
903	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	空調用設備	非管理区域換気空調設備	—	—	非管理区域換気空調設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
904	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	室薬循環冷却設備	室薬循環冷却機用冷却水設備	—	—	室薬循環冷却機用冷却水設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
905	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	室薬循環冷却設備	室薬ガス供給設備	—	—	室薬ガス供給設備	—	燃料加工建屋	1式	2-1	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
913	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	その他ガス設備	ヘリウムガス設備	—	—	ヘリウムガス設備	—	燃料加工建屋	1式	2-1	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
914	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	その他ガス設備	酸素ガス設備	—	—	酸素ガス設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
915	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	その他ガス設備	圧縮空気供給設備	—	—	圧縮空気供給設備	—	燃料加工建屋	1式	2-1	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
924	施設共通	—	—	—	—	—	—	基本設計方針	—	—	—	—	—	—	-/-	—	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	アクセスルート (PA建屋内)	—	—	—	—	—	—	-/-	—	—	—	—	○PP ■■■■■ (W1976×D1036×H2032) ○PP ■■■■■ (W7000×D350×H1000) ○PP ■■■■■ (W300×D100×H400) ○PP ■■■■■ (W1500×D300×H300)	・近傍■■■が設置されるが、転倒したとしてもアクセスルートに必要な幅が確保できるため、阻害しない。 ■は、軽量物であり、アクセスルートと照合するものではないため、対象外	—	—		

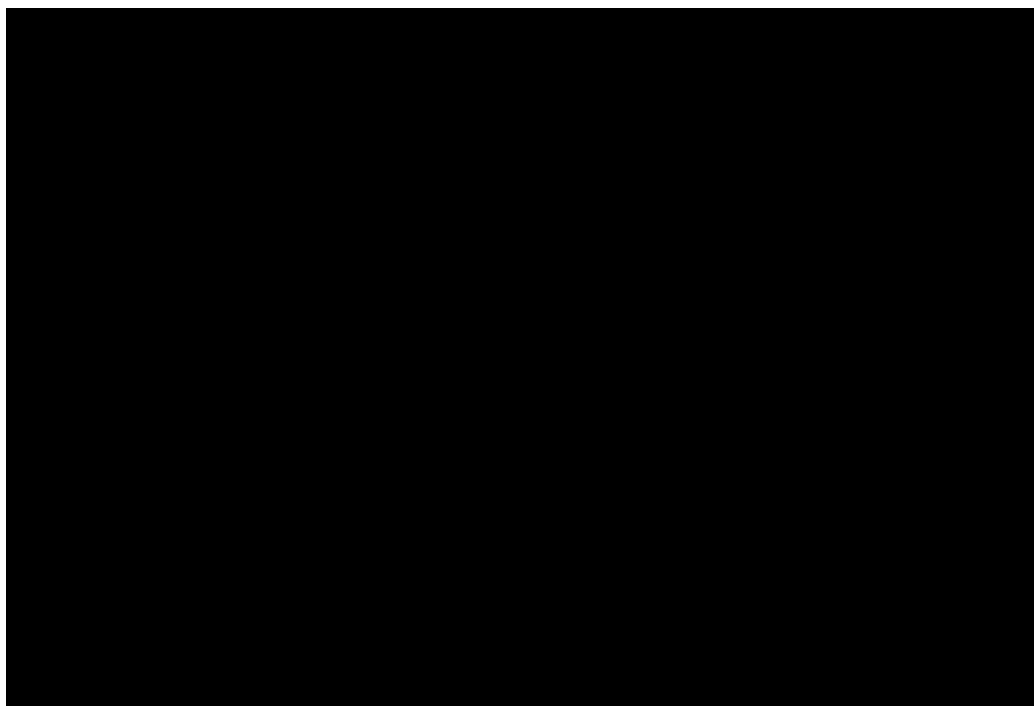
スタック編成設備グローブボックス等周辺のSG設備
(査察現場キャビネット (LC-15A, LC-15B))

スタック編成設備グローブボックス及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8の周辺に査察現場キャビネット (LC-15A, LC-15B) を設置する設計としている。

査察現場キャビネット (LC-15A, LC-15B) とスタック編成設備グローブボックス及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8の設置場所を第1図に示す。査察現場キャビネットの外形図を第2図に示す。

スタック編成設備グローブボックスと査察現場キャビネット (LC-15A) は、スタック編成設備グローブボックスのメンテナンスに必要なスペース及びキャビネットのメンテナンスに必要なスペースを確保した場所に設置していることから、相互影響を考慮した設置場所となっている。

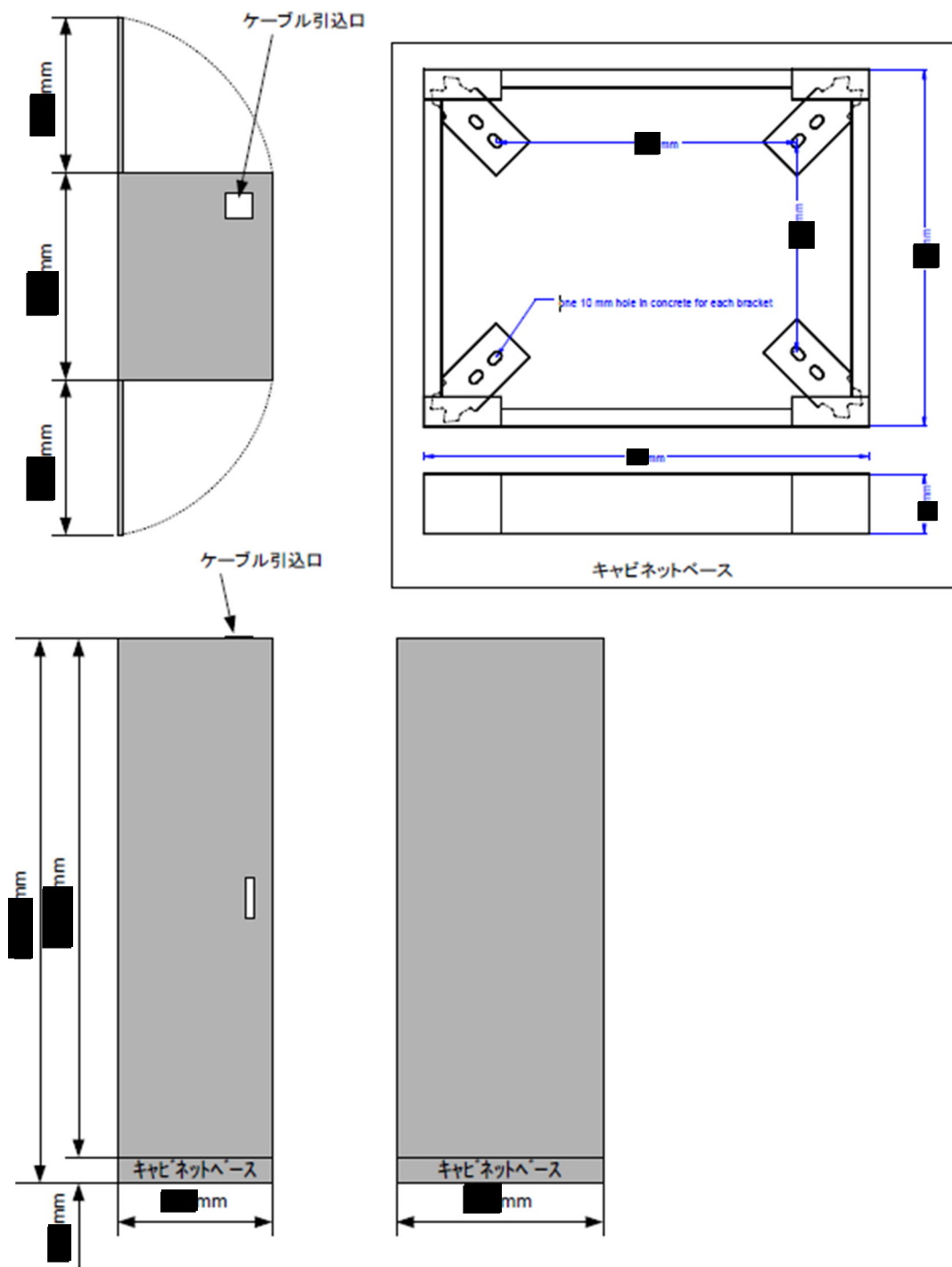
査察現場キャビネット (LC-15B) とペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8も同様の設計となっている。



ペレット保管容器搬送装置
グローブボックス-8

スタック編成設備グローブボックス

第1図 LC-15A及びLC-15B 設置場所



第2図 査察監視キャビネット外形図

ロッドスキャンニング装置等周辺のSG設備

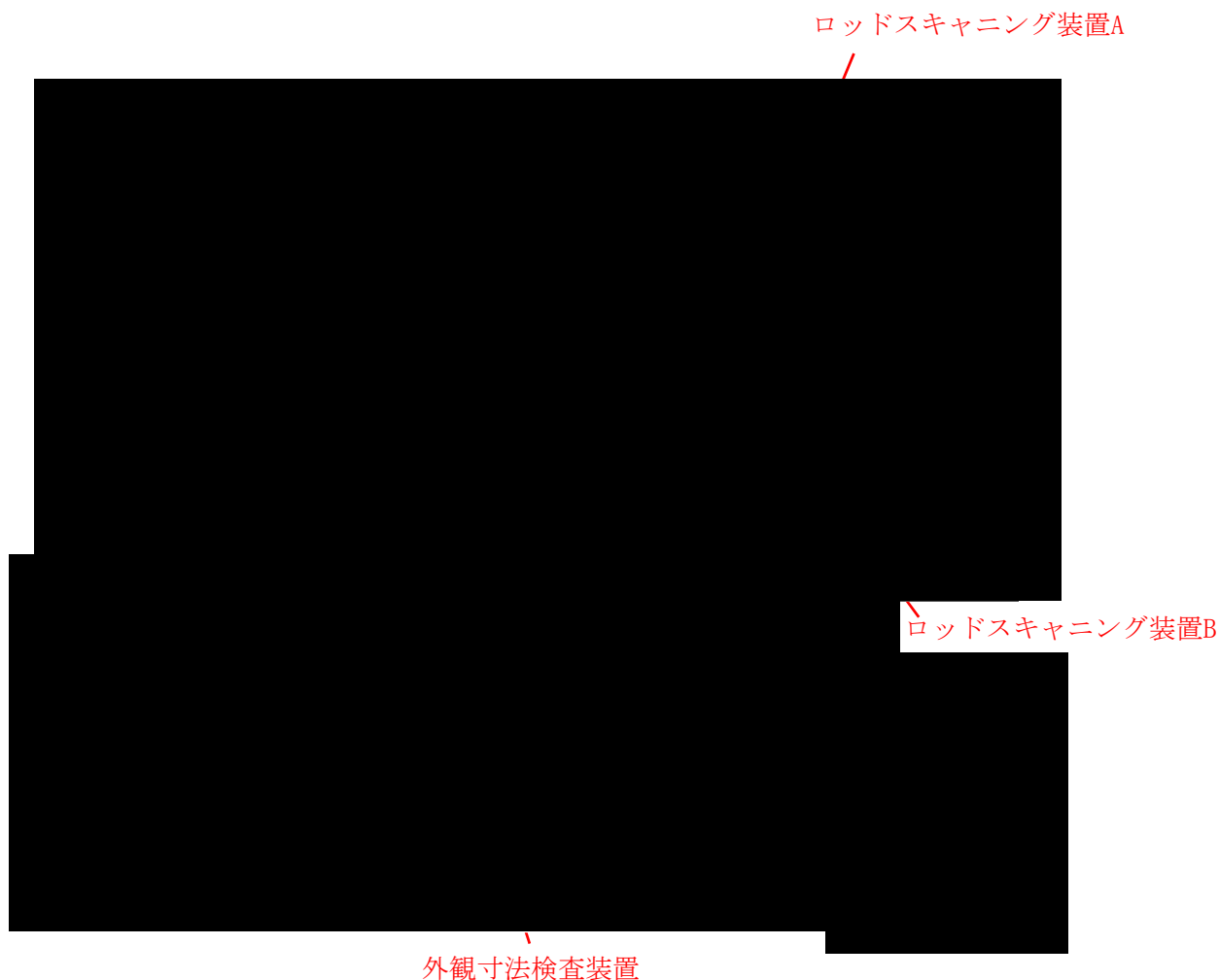
(██████, ██████)

ロッドスキャンニング装置及び外観寸法検査装置の周辺に██████, ██████を設置する設計としている。

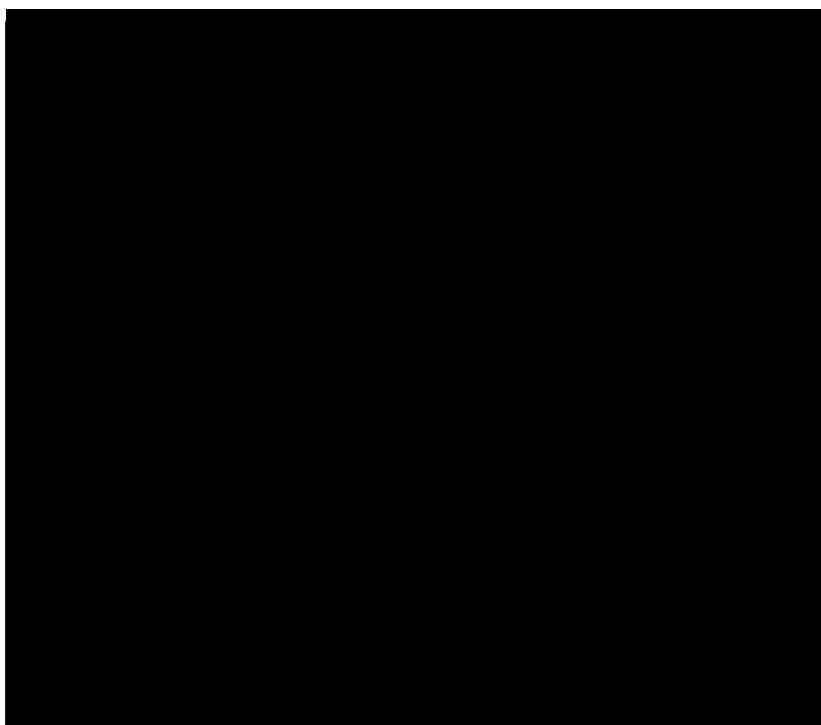
██████, ██████とロッドスキャンニング装置及び外観寸法検査装置の設置場所を第1図に示す。██████の概略図及び設置スペースを第2図, 第3図に示す。

██████, ██████の至近にはロッドスキャンニング装置のローラコンベアがあるが、ローラコンベアは上側からアクセスすることでメンテナンスに影響はない場所を設置スペースとして確保していることから相互影響を考慮した設置場所となっている。

また, ██████の設置場所から外観寸法検査装置は十分に距離が離れており, 相互影響を考慮した設置となっている。



第1図 ██████及び██████の設置場所



第2図 ■ 概略図



【設置スペースについて】
図で示した設置スペースの範囲内に架台を含めて [redacted] が設置されるものとする。



[redacted] 設置スペース

[redacted] 架台

[redacted] 架台

[redacted] バーコードリーダー、
照明本体

第3図 [redacted] 設置スペース

燃料棒収容装置等周辺のSG設備

(■■■■, ■■■■)

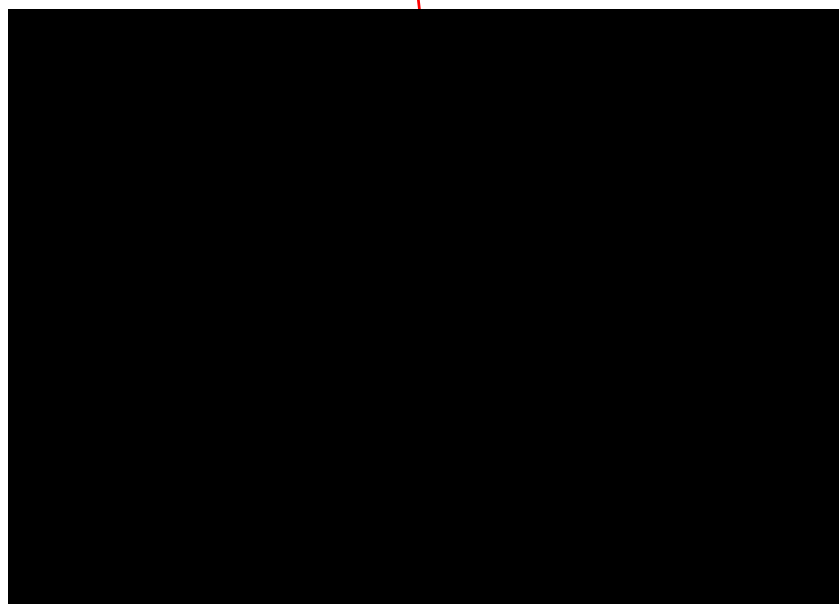
燃料棒収容装置及び燃料棒供給装置の燃料棒の搬送を監視するため、燃料棒収容装置及び燃料棒供給装置の周辺に■■■■、■■■■を設置する設計としている。

■■■■、■■■■と燃料棒収納装置及び燃料棒供給装置の設置場所を第1図に示す。■■■■の概略図及び設置スペースを第2図、第3図に示す。■■■■の概略図及び設置スペースを第4図、第5図に示す。

■■■■は、燃料棒収容装置のメンテナンスが必要ないスペースに設置するスペースを確保することで、相互影響を考慮した設置場所となっている。

■■■■も同様に、燃料棒供給装置のメンテナンスが必要ないスペースに設置するスペースを確保することで、相互影響を考慮した設置場所となっている。

燃料棒収容装置



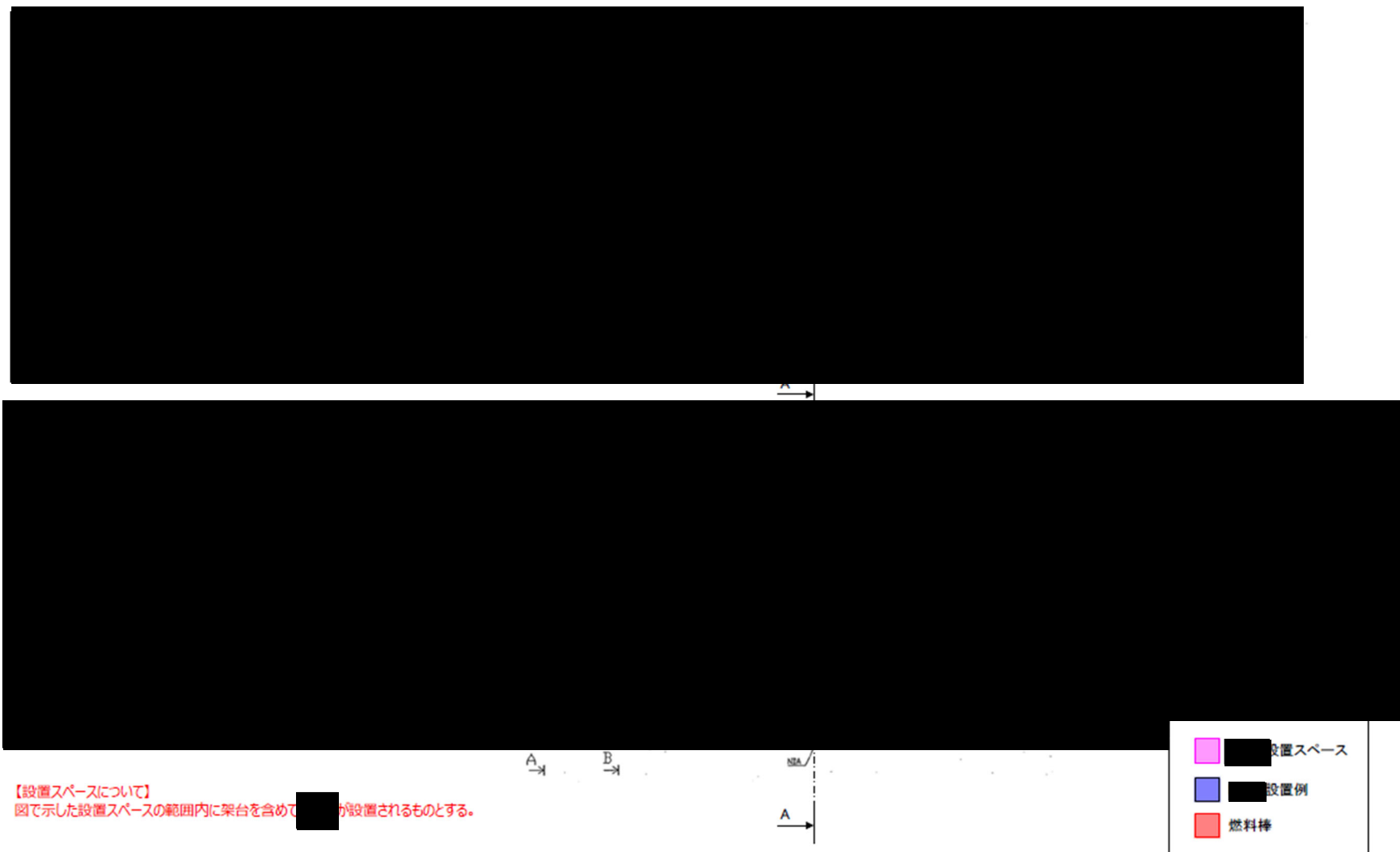
燃料棒供給装置

第1図 ■■■■及び■■■■の設置場所

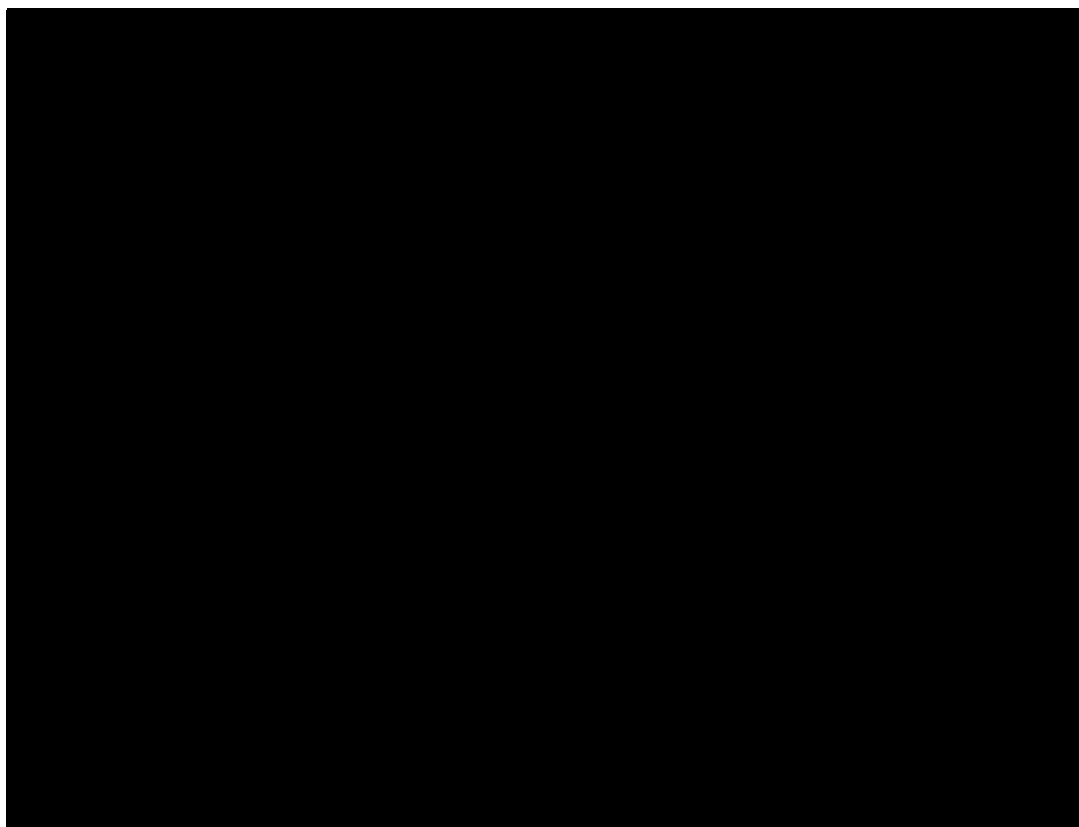


単位：mm

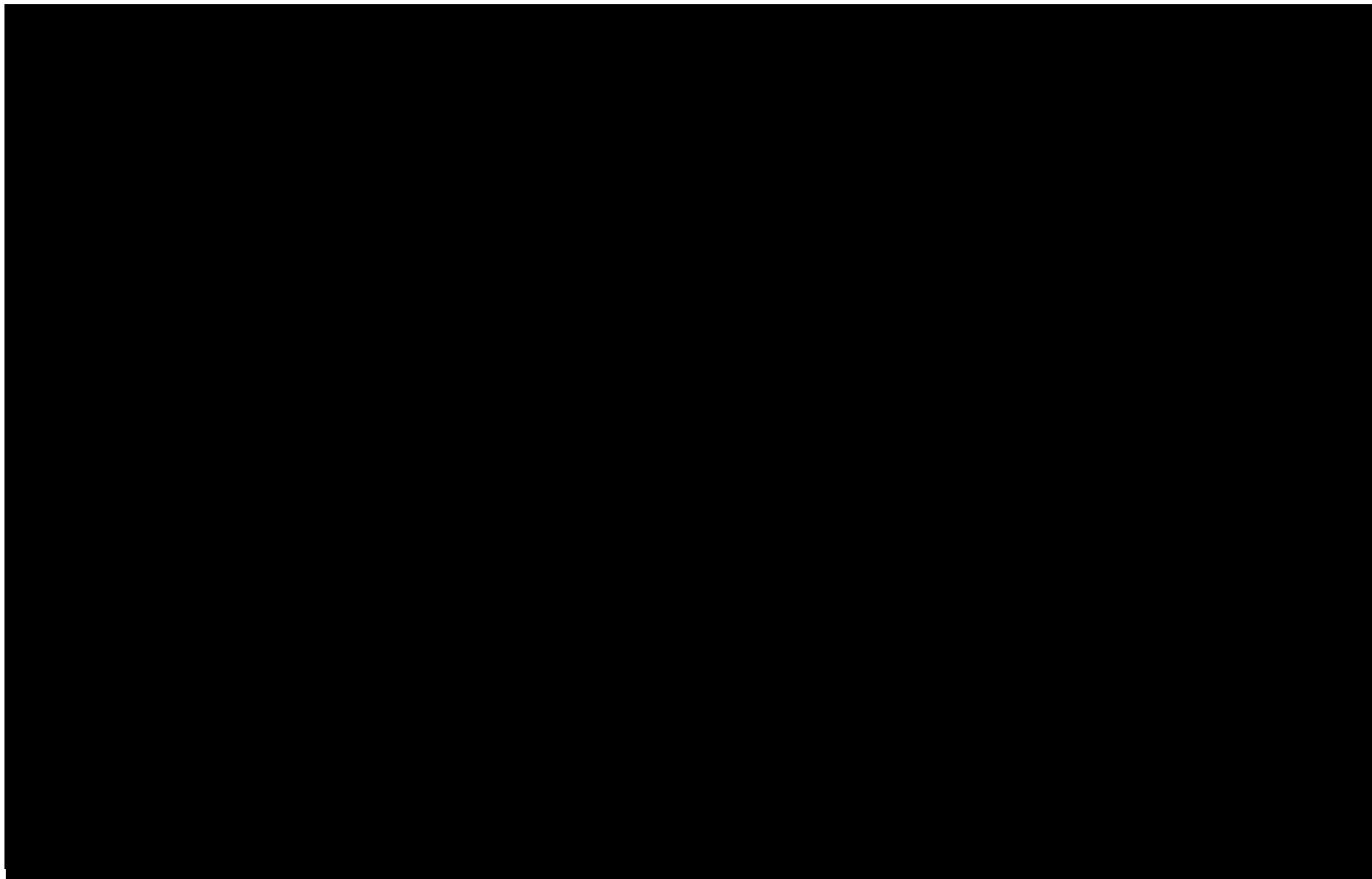
第2図  概略図



第3図 ■■■ 設置スペース



第4図 ■ 概略図



第5図 ■ 設置スペース

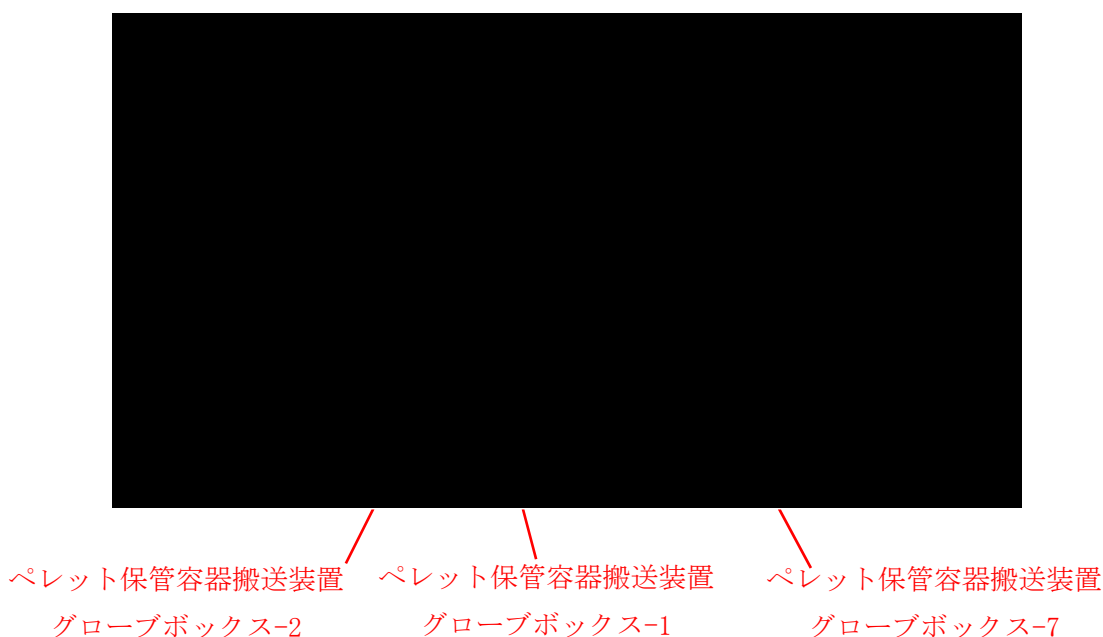
ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1等周辺のSG設備
(XXXXXXXXXX)

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1，ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7の周辺にペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14（第3回申請）の搬送を監視するためのXXXXXXXXXXを設置する設計としている。

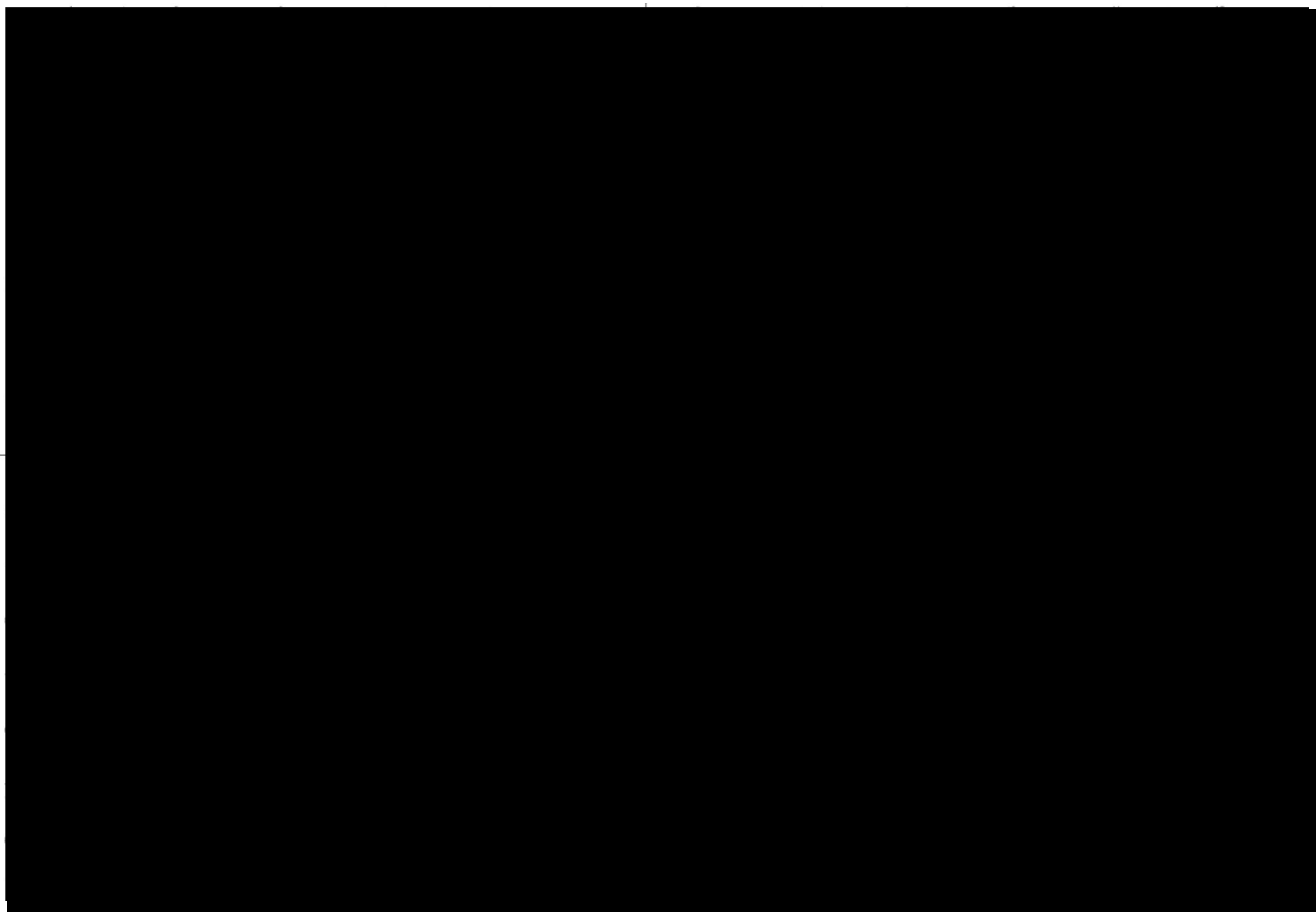
XXXXXXXXXXとペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1，ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7の設置場所を第1図に示す。XXXXXXXXXXの設置スペースを第2図に示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1，ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7の構造を第3図に示す。

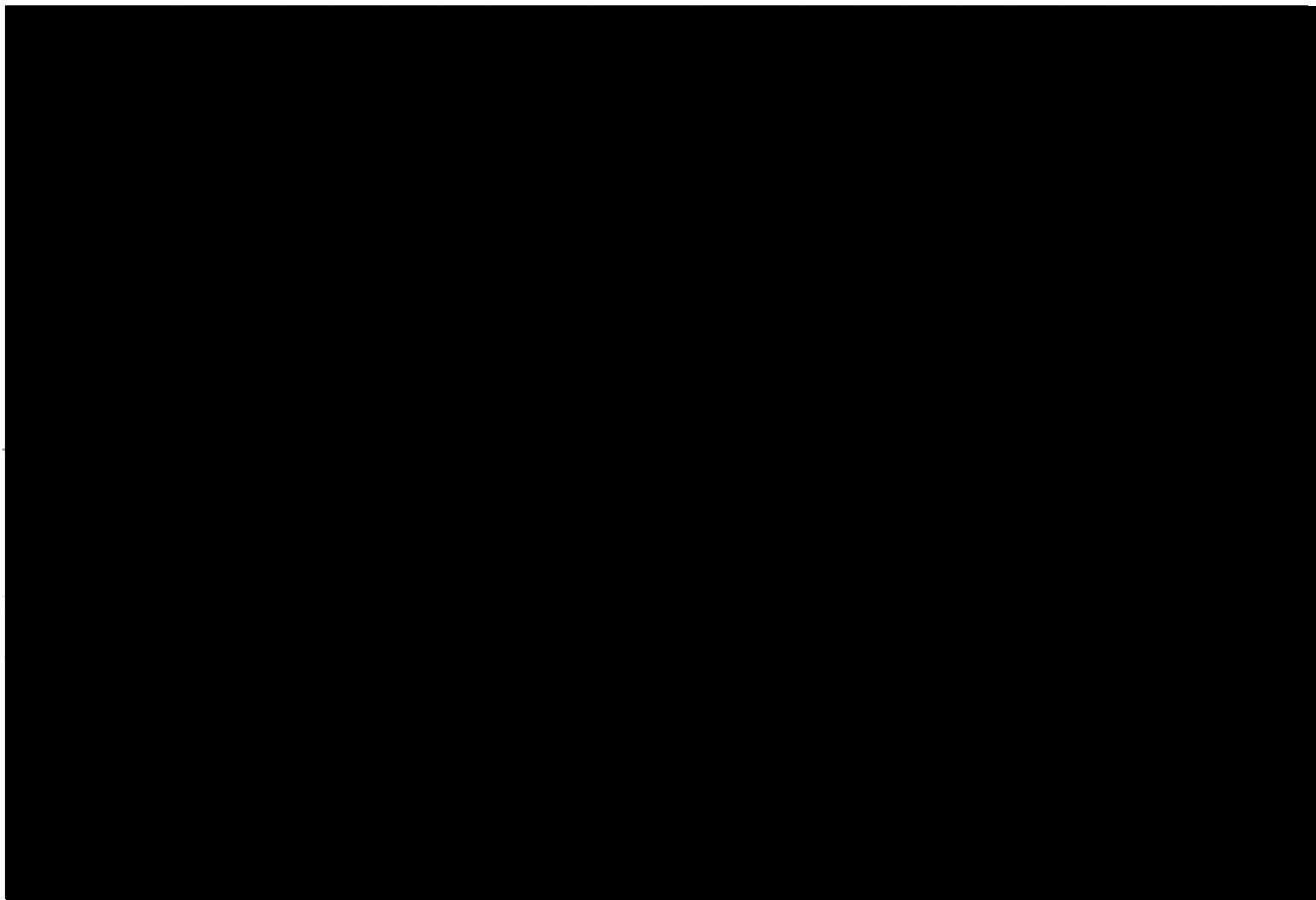
ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1，ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7は，XXXXXXXXXX付近のポートにアクセス可能であるため，相互影響を考慮した設置場所となっている。



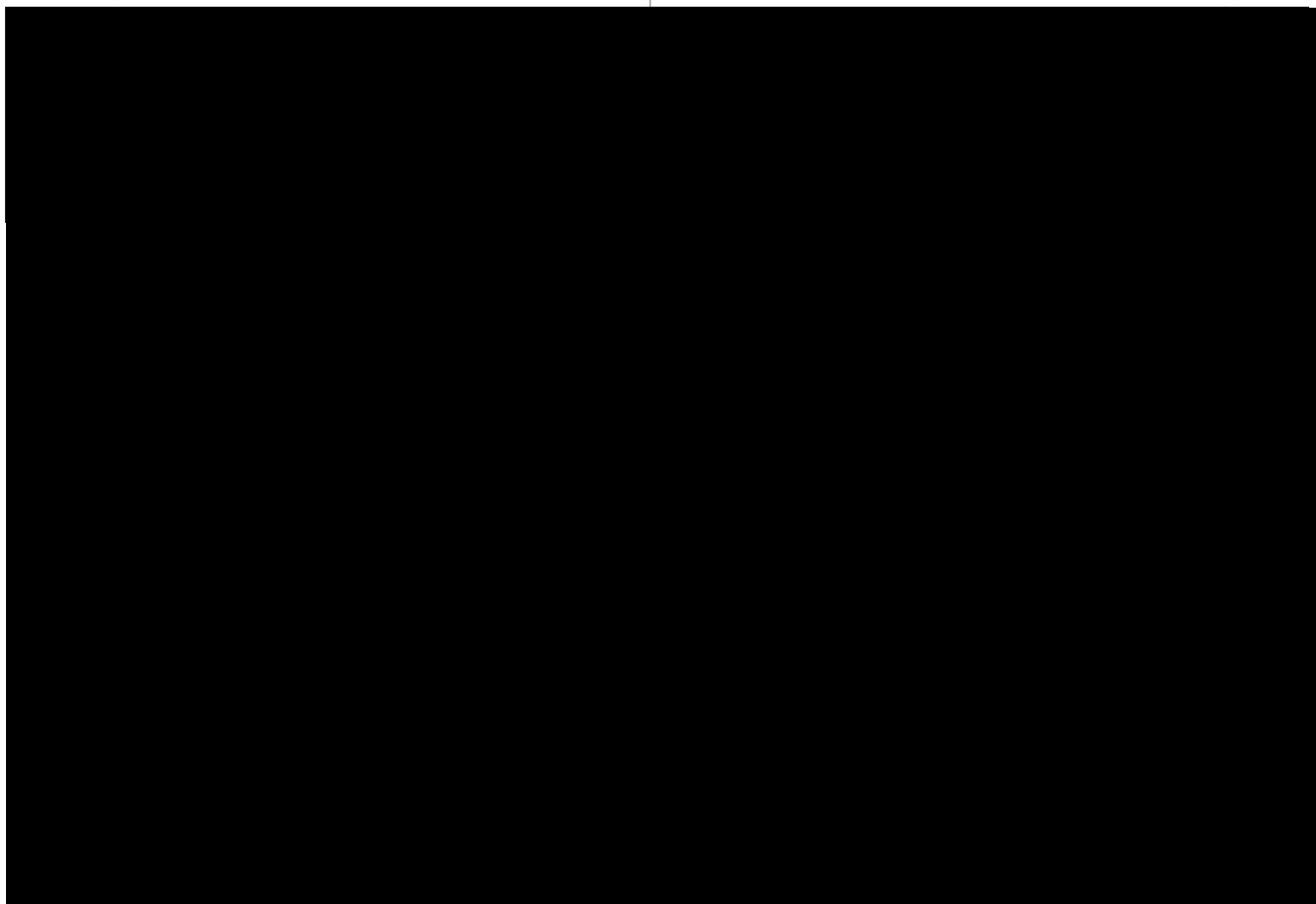
第1図 XXXXXXXXXX，ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1，-2，-7の設置場所



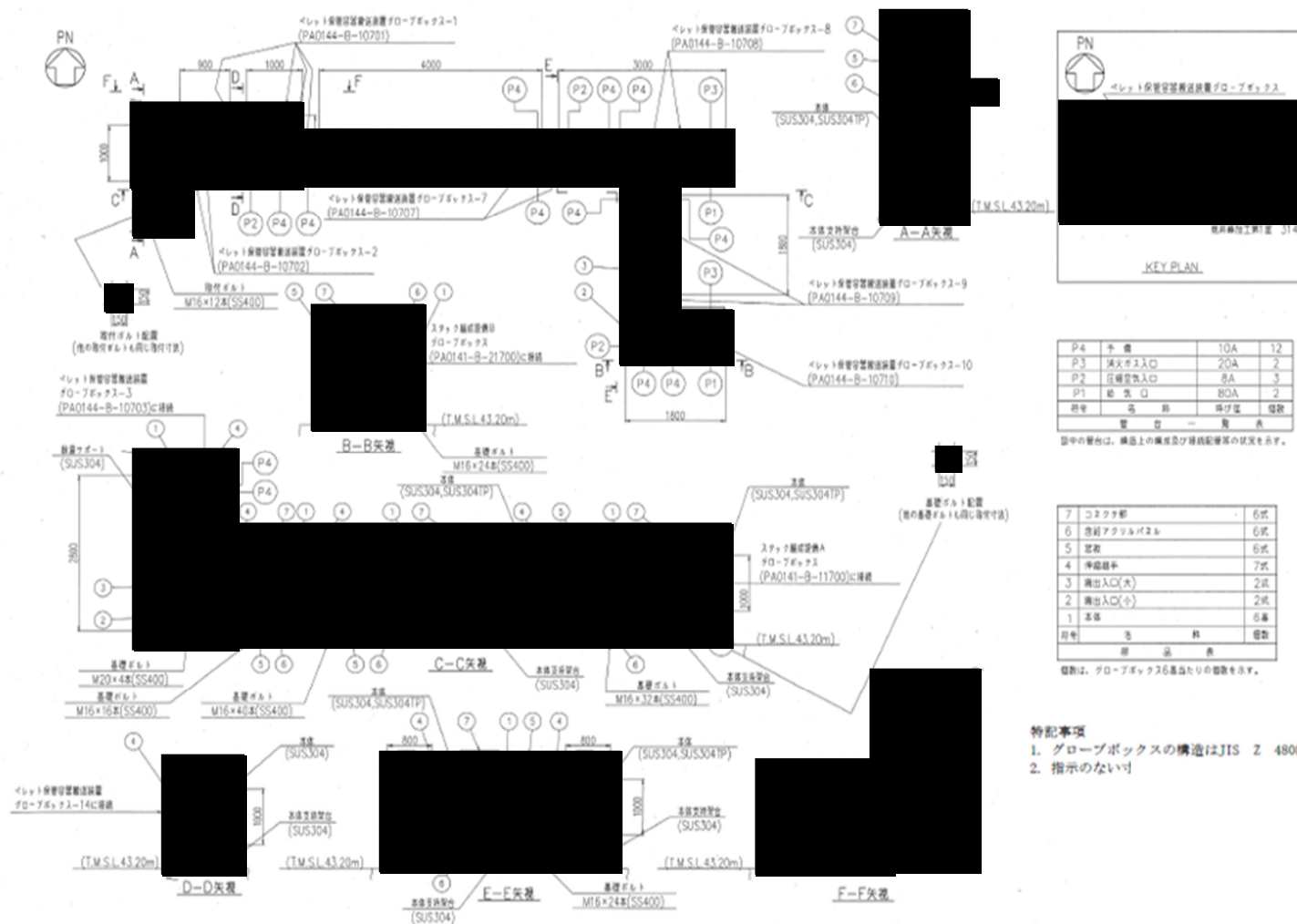
第2図(1) ■■■■ 設置スペース



第2図(2) ■■■■ 設置スペース



第2図(3) ■ 設置スペース



第3図 ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, -2, 7の構造図

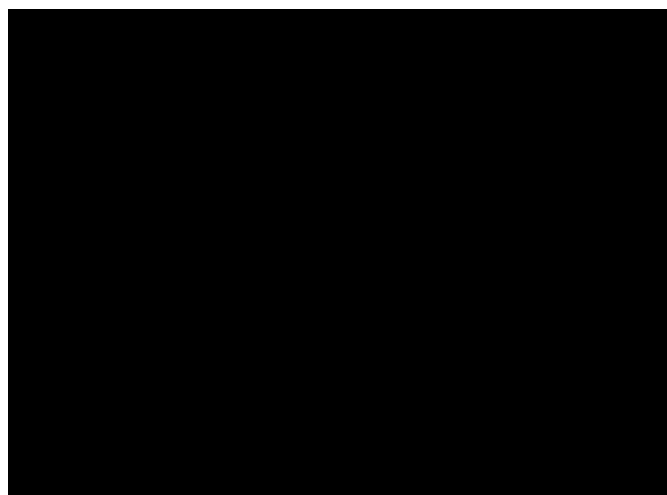
乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6周辺のSG設備

()

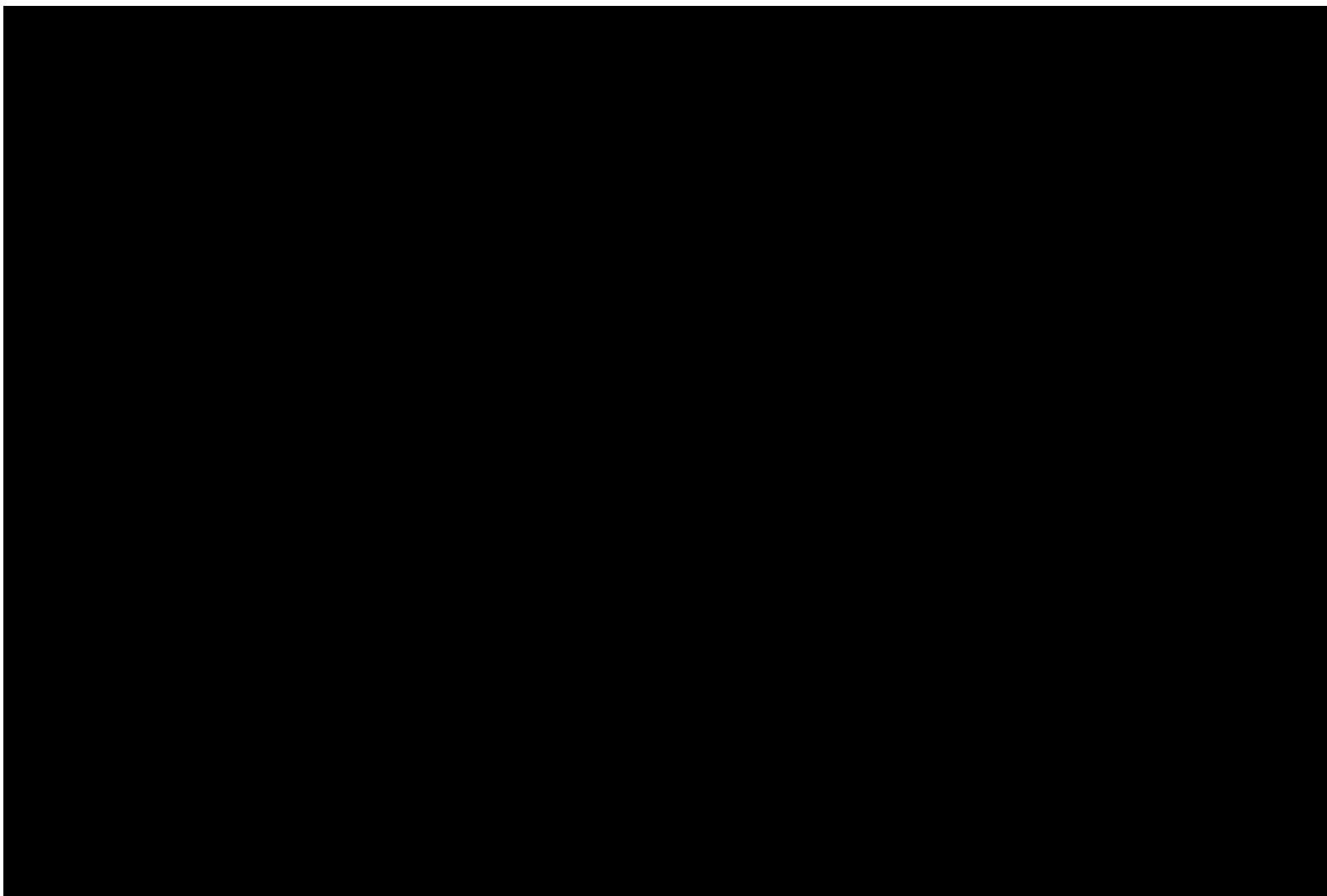
乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6での核燃料物質の搬送を監視するため、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6周辺に を設置する設計としている。

と乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6の設置場所を第1図に示す。 の設置スペースを第2図に示す。

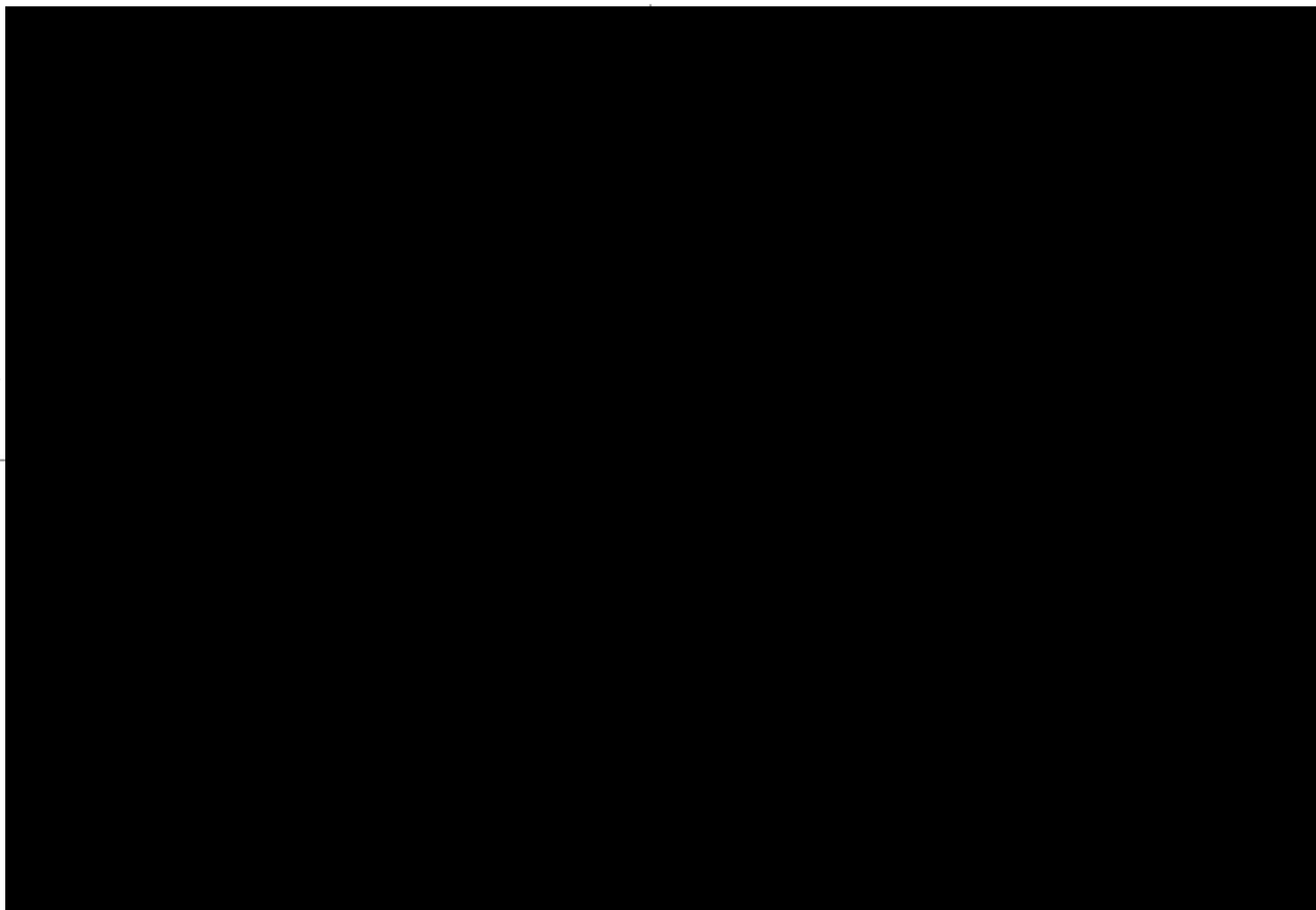
は、通常時及びメンテナンス時に乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6と干渉しない場所に設置する。 こと
で、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6のメンテナンスができる設計としており、相互影響を考慮した設置となっている。

乾燥ボート搬送装置
グローブボックス-6

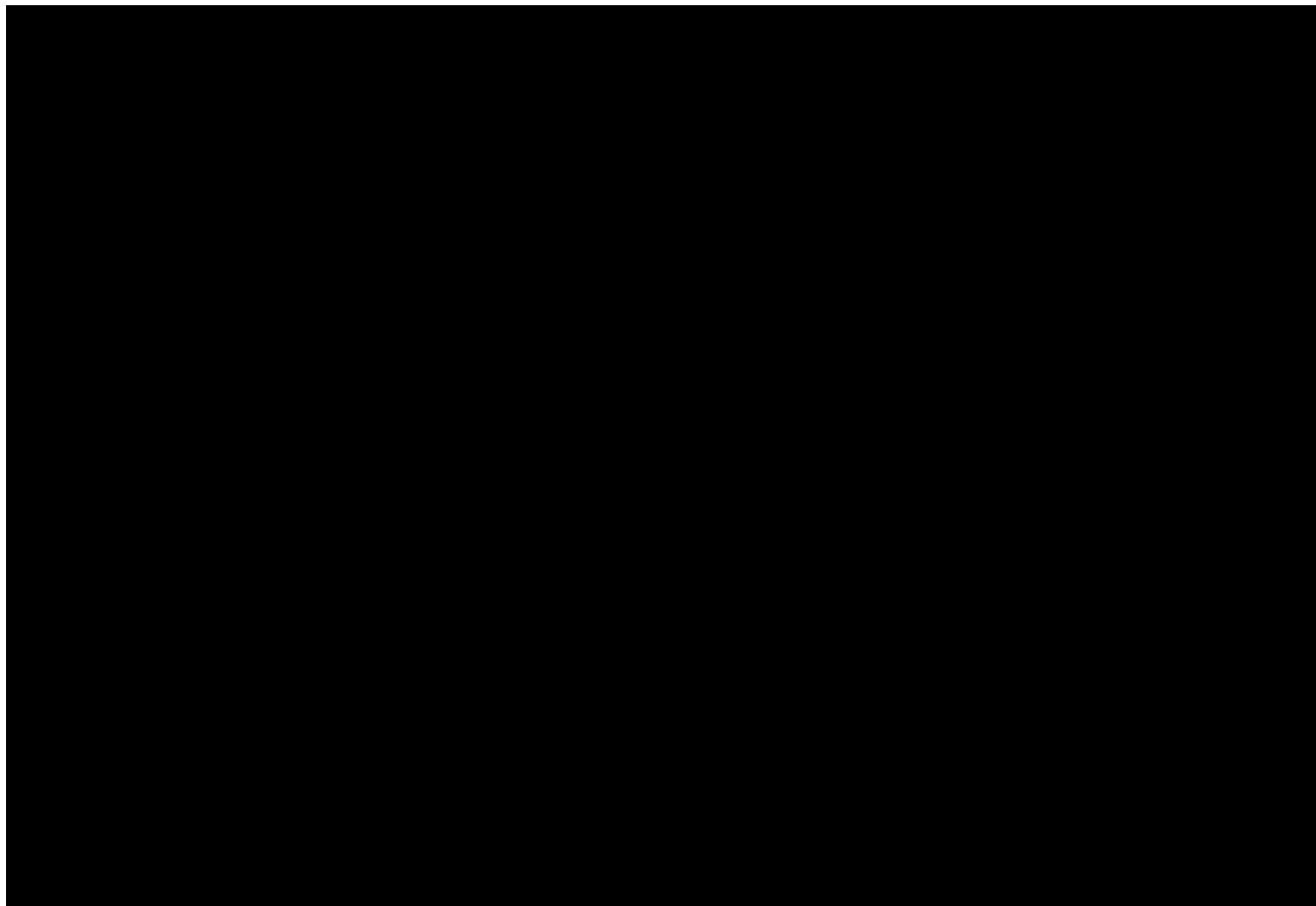
第1図 及び乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6の設置場所



第2図(1) 設置スペース



第2図(2) ■■■■ 設置スペース



第2図(3) ■■■■ 設置スペース

マガジン編成装置と一体となって設置するSG設備

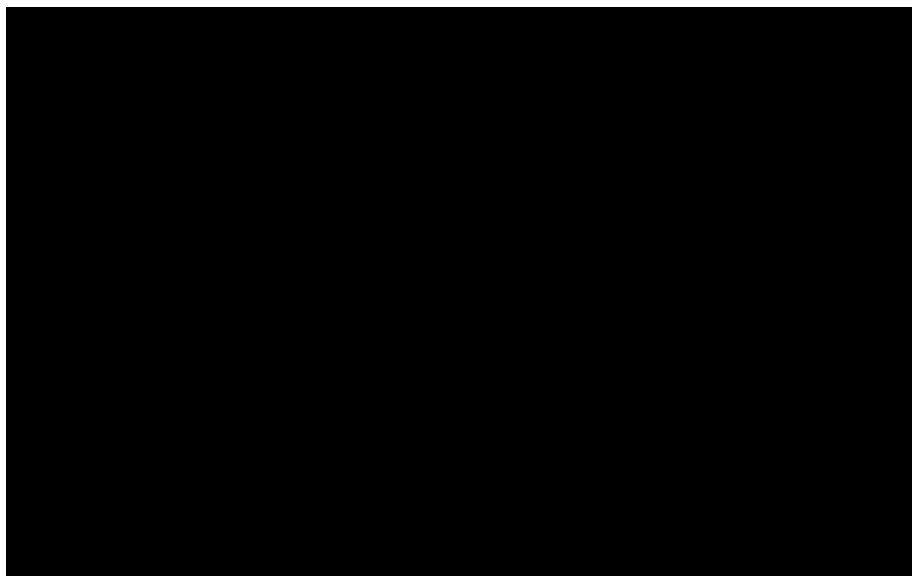
()

マガジン編成装置に燃料棒の搬送を監視するため()を設置する設計としている。

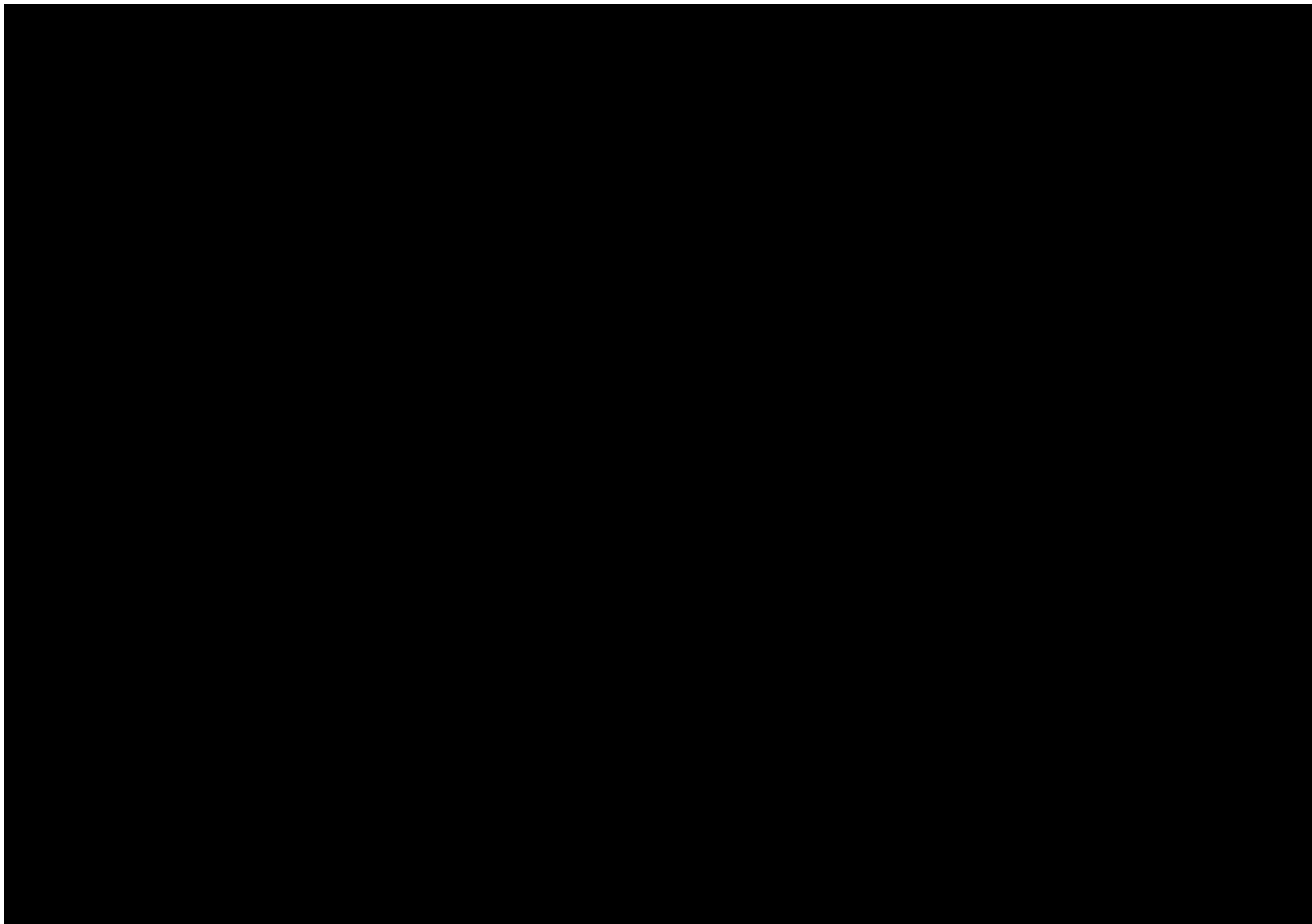
()とマガジン編成装置の設置場所を第1図に示す。()の構造を第2図に設置スペースを第3図に、()を設置するマガジン編成装置の構造を第4図に示す。

()は、マガジン編成装置の洗浄機に設置する設計とし、ボルト固定によりメンテナンス時に取り外し可能な構造とすることで、メンテナンススペースを確保する設計とし、相互影響を考慮した設計とする。

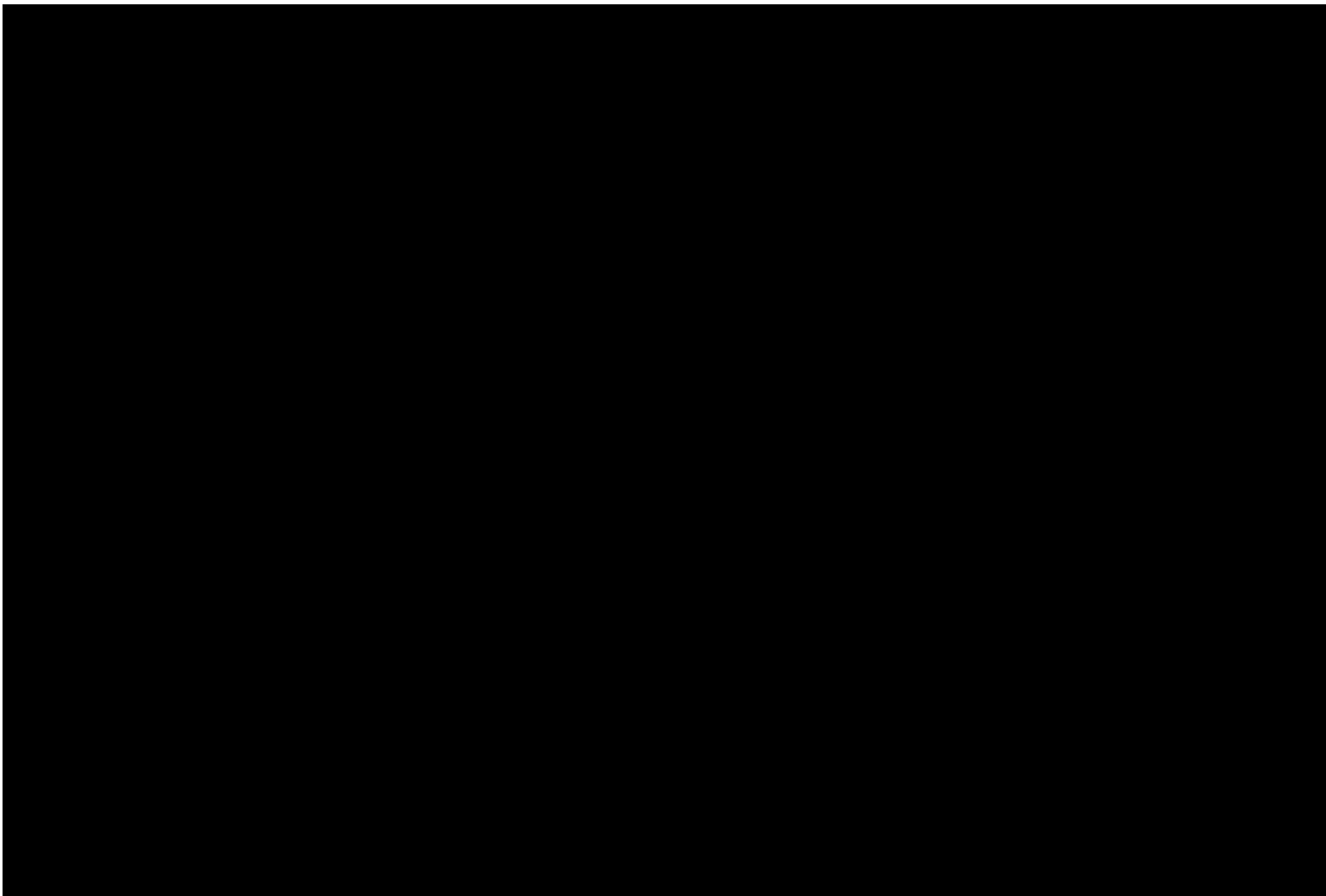
また、()は、マガジン編成装置に設置することから、マガジン編成装置の耐震設計上の評価条件として()の負荷を考慮した設計とする。また()は、マガジン編成装置の耐震設計上で考慮する負荷条件を逸脱しない設計とすることで、相互影響を考慮した設計とする。



第1図 ()及びマガジン編成装置の設置場所



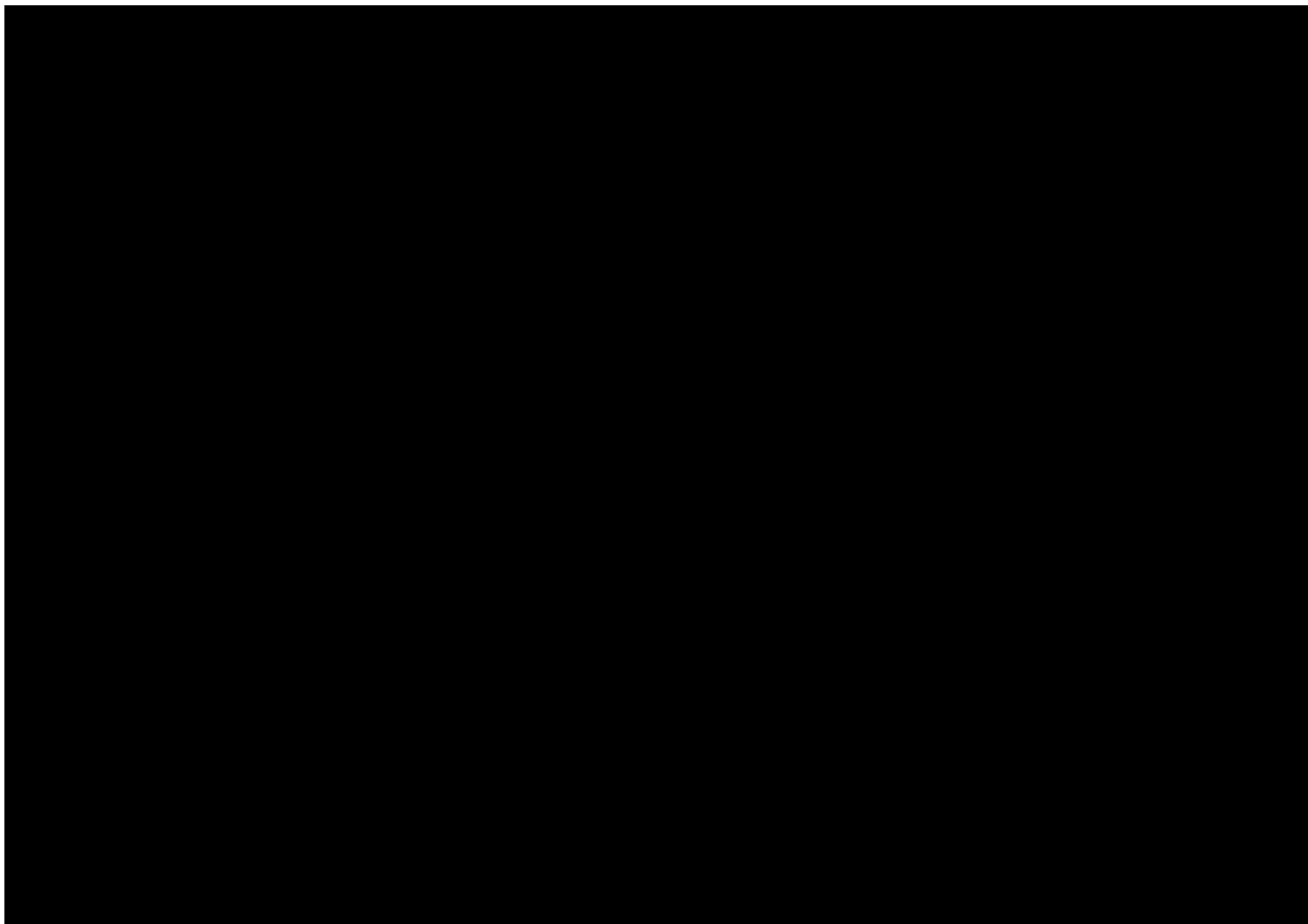
第2図 ■ 概略図



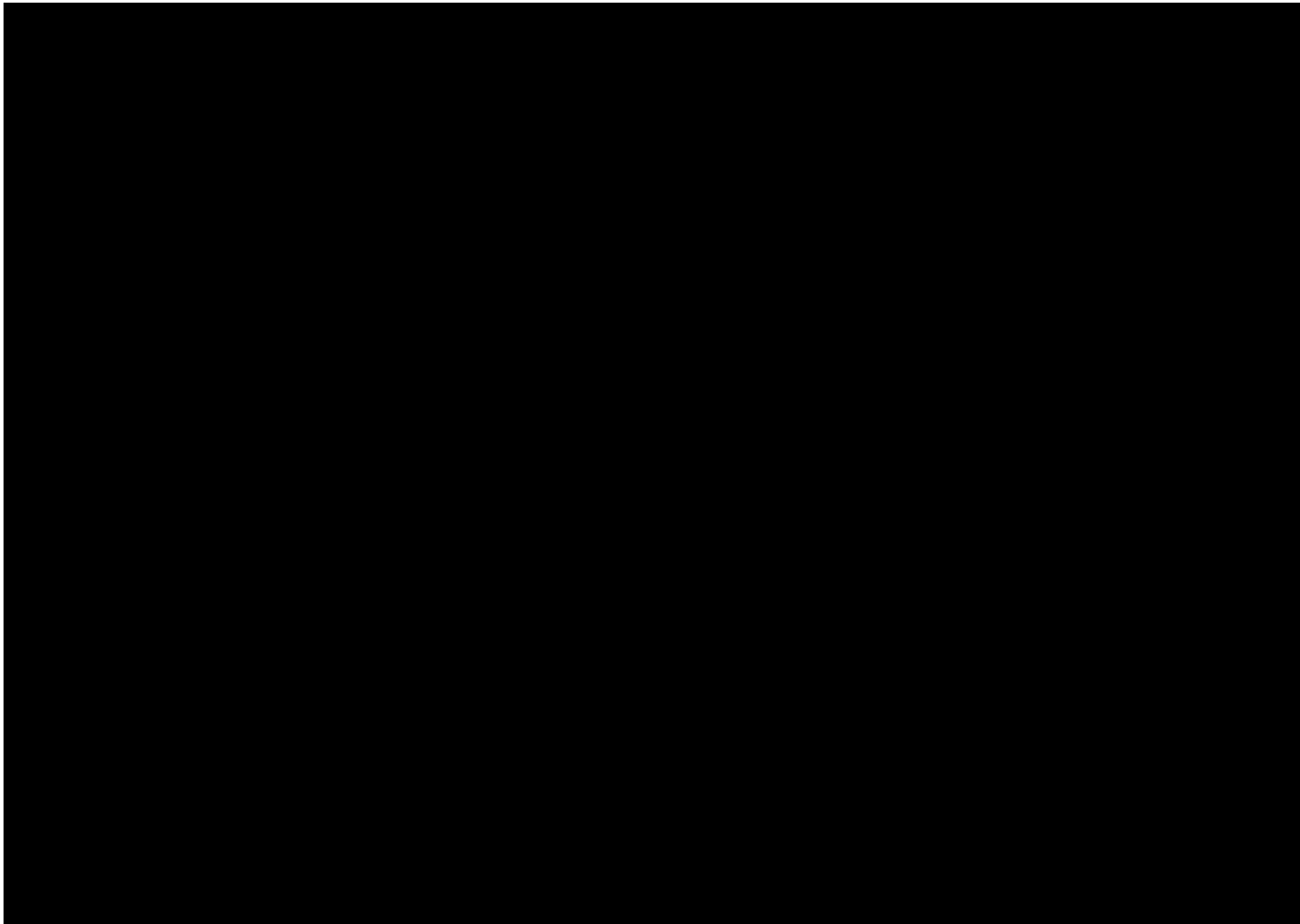
第2図 ■ 設置スペース



第4図 (1) マガジン編成装置 構造図



第4図 (2) マガジン編成装置 構造図 (洗浄機周辺)



第4図 (3) マガジン編成装置 構造図 (洗浄機周辺)

リフト周辺のSG設備

(█████, █████, 査察現場キャビネット (LC-21A, LC-21B))

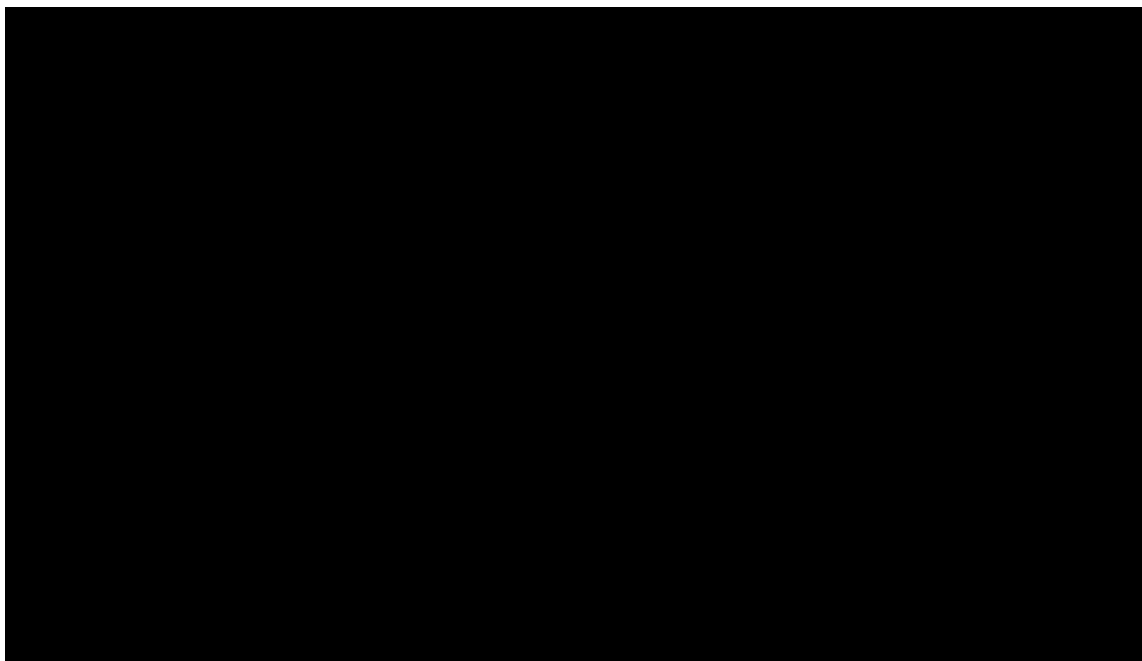
リフトでのPWR燃料集合体及びBWR燃料集合体の搬送を監視するため、リフト周辺に █████, █████ を設置する設計としている。

また、リフト近傍に、査察現場キャビネット (LC-21A, LC-21B) を設置する設計としている。

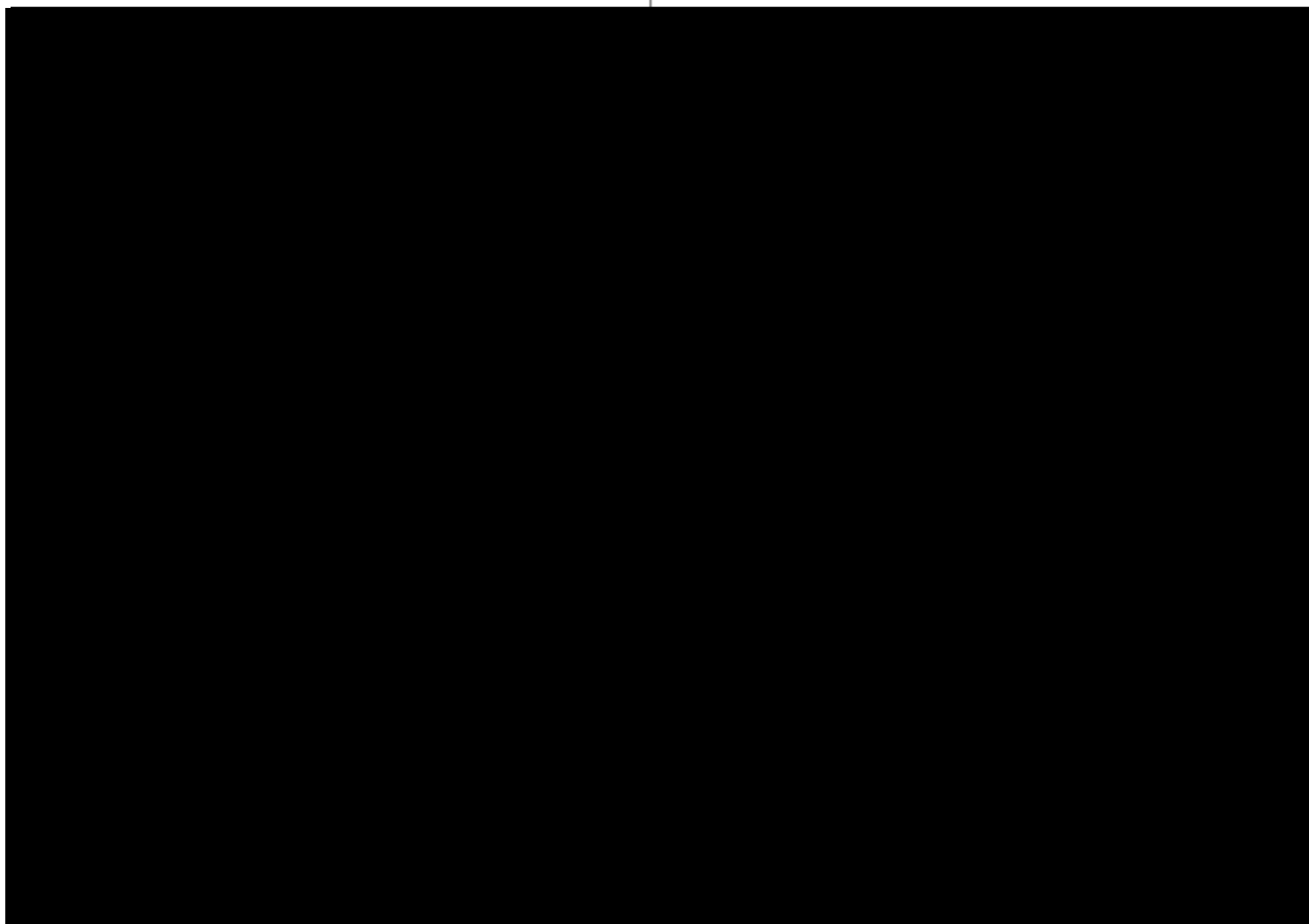
█████, █████, LC-21A, LC-21B及びリフトの設置場所を第1図に示す。█████及び █████ の設置スペースを第2図に示す。

█████, █████ は、メンテナンスの際に本体を取り外し可能な設計とすることで、相互影響を考慮した設計としている。

また、リフトと査察現場キャビネット (LC-21A, LC-21B) は、キャビネットのメンテナンスに必要なスペースを確保していることから、相互影響を考慮した設置場所となっている。



第1図 █████, █████, LC-21A, LC-21B及びリフトの設置場所



第2図  設置スペース

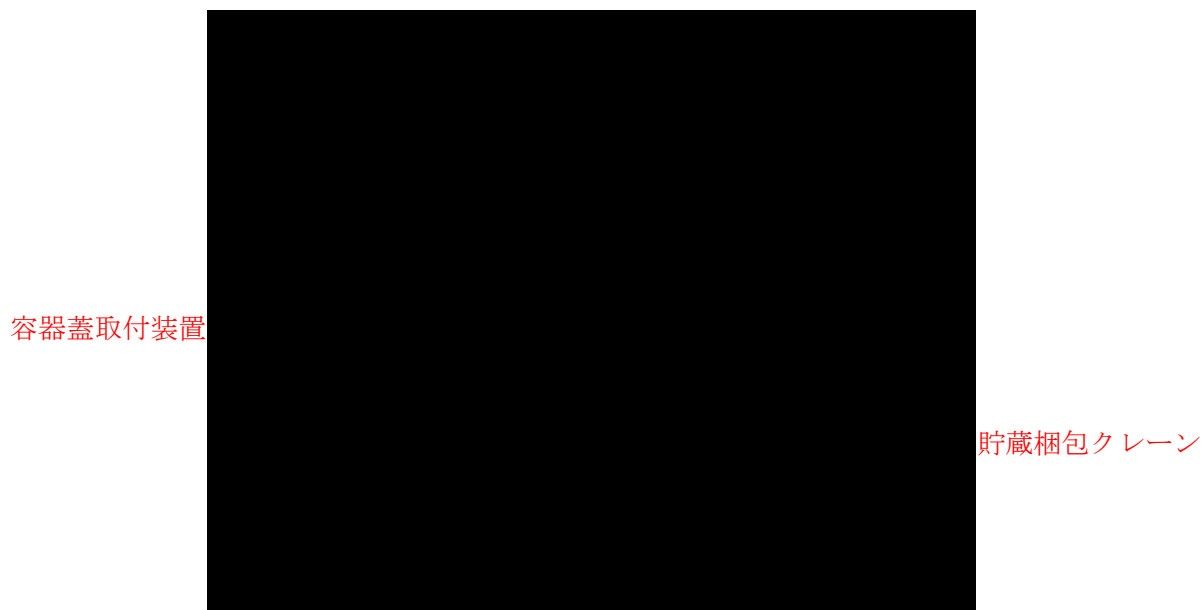
貯蔵梱包クレーン等周辺のSG設備

()

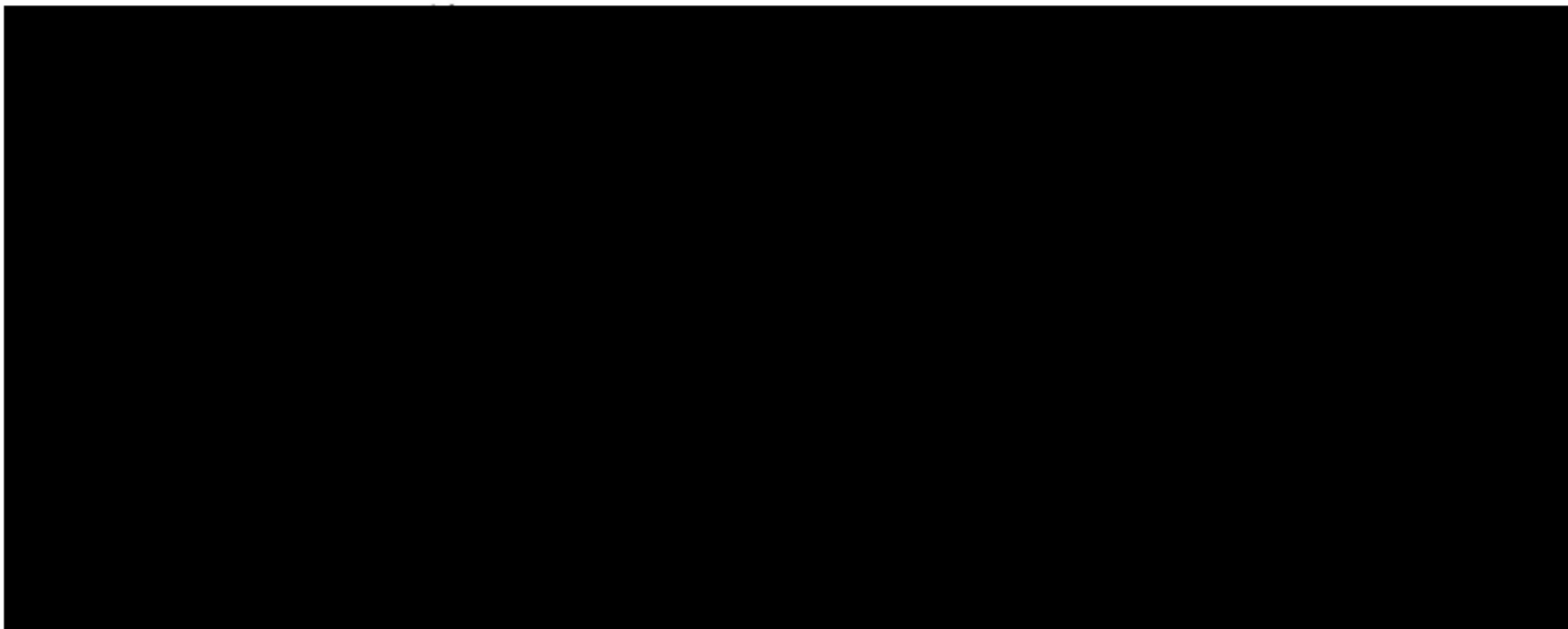
貯蔵梱包クレーン及び容器蓋取付装置の周辺に を設置する設計としている。

，貯蔵梱包クレーン及び容器蓋取付装置の設置場所を第1図に示す。 の設置スペースを第2図に示す。

は，通常時及びメンテナンス時に容器蓋取付装置及び貯蔵梱包クレーンに干渉しないスペースを確保できる設計とすることで，相互影響を考慮した設置場所となっている。



第1図 ，貯蔵梱包クレーン及び容器蓋取付装置の設置場所



第2図 ■ 設置スペース

焼結ボート受渡装置グローブボックス-4周辺のSG設備

(■-8)

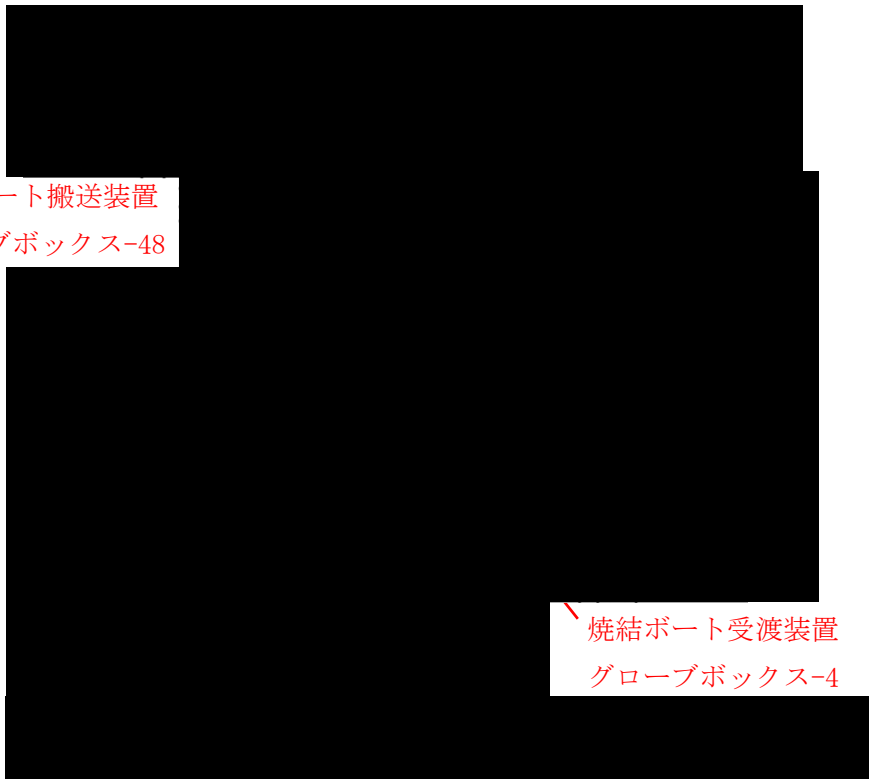
焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の周辺に焼結ボート搬送装置グローブボックス-48（第3回申請）の搬送を監視するための■-8を設置する設計としている。

AMGB-8と焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の設置場所を第1図に示す。

焼結ボート受渡装置グローブボックス-4と■-8の設置場所の関係を第2図に示す。

焼結ボート受渡装置グローブボックス-4は、■-8付近のポートにアクセス可能であるため、相互影響を考慮した設置場所となっている。

■-8は、耐震Sクラスとなる焼結ボート受渡装置グローブボックス-4に波及的影響を及ぼさないよう、基準地震動Ssの地震力にて転倒しない設計とする。



焼結ボート搬送装置
グローブボックス-48

焼結ボート受渡装置
グローブボックス-4

第1図 ■-8, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の設置場所



第2図 焼結ボート受渡装置グローブボックス-4■-8の設置場所の関係

スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1周辺のSG設備

(■-9)

スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1の周辺に回収粉末容器搬送装置グローブボックス-2（第3回申請）の搬送を監視するための■-9を設置する設計としている。

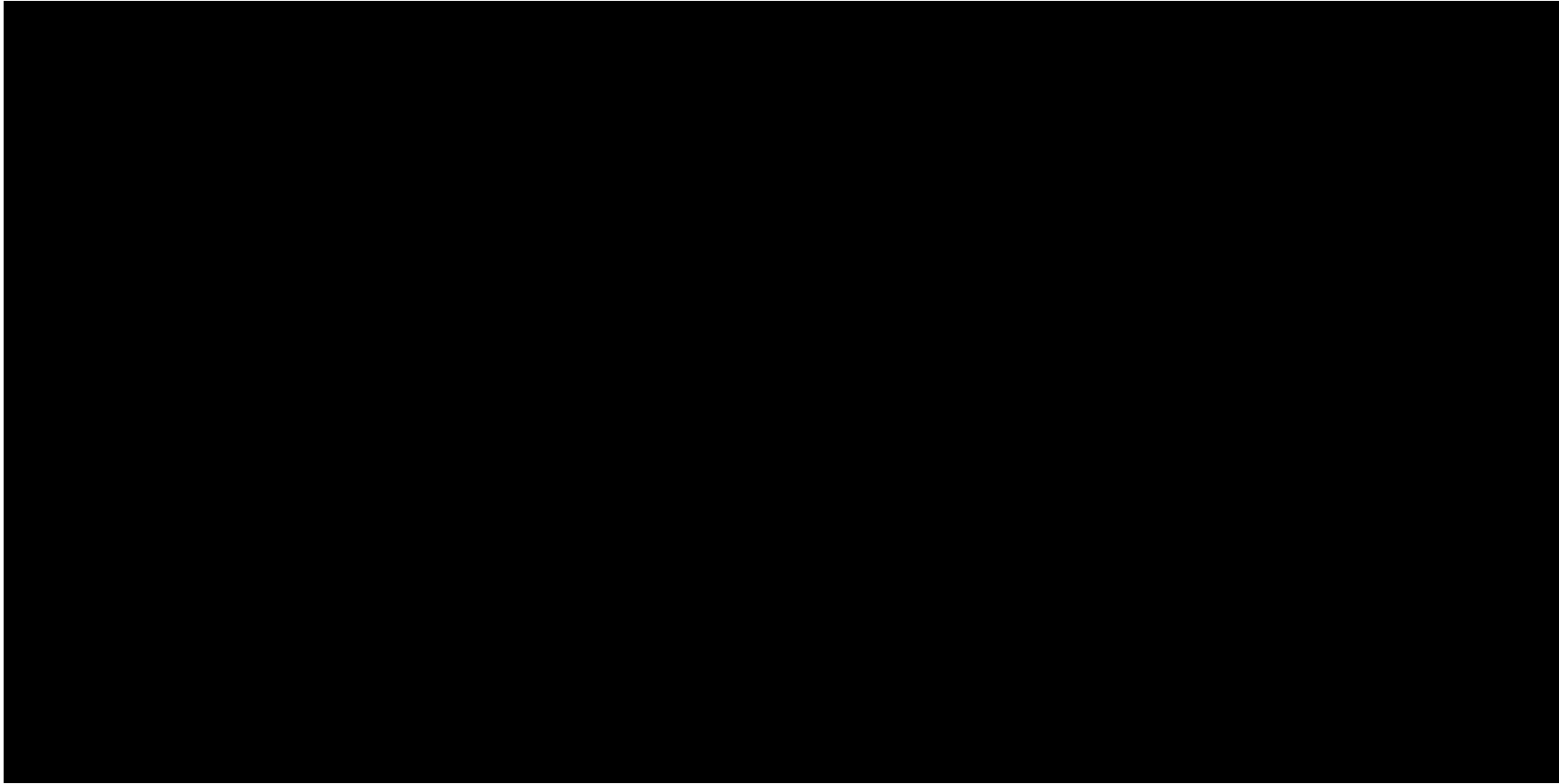
■-9とスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1の設置場所を第1図に示す。スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1と■-9の設置場所の関係を第2図に示す。

スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1は■-9付近のポートにアクセス可能であるため、相互影響を考慮した設置場所となっている。

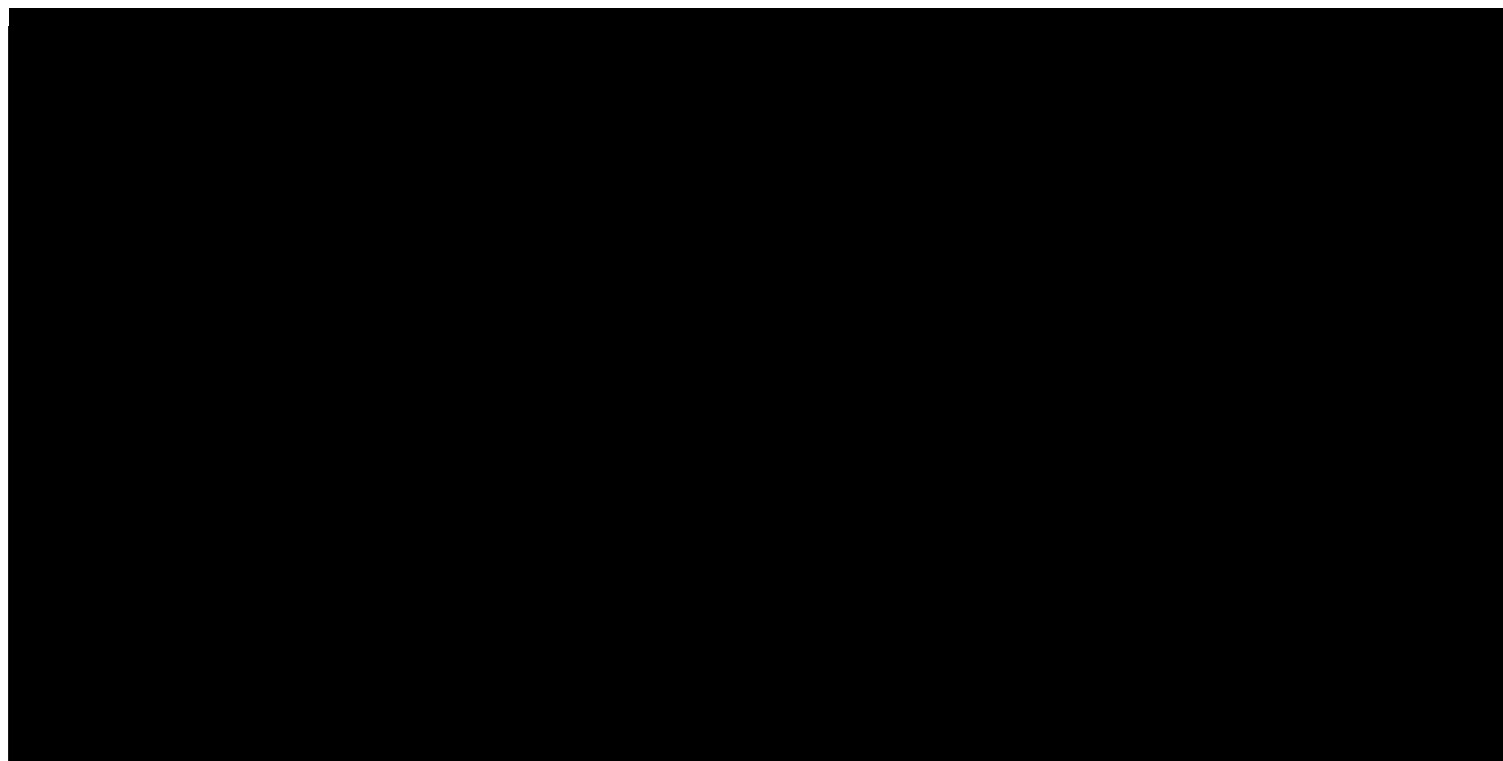
■-9は、耐震Sクラスとなるスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1に波及的影響を及ぼさないよう、基準地震動 S_s の地震力にて転倒しない設計とする。

回収粉末容器搬送装置
グローブボックス-2

第1図 ■-9, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の設置場所



第2図 (1) スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1と■-9の設置場所の関係



AMGB-9が落下した場合に耐震Sクラスであるスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1に波及的影響を及ぼすおそれがあることから、AMGB-9は、基準地震動Ssによる地震力にて転倒しない設計とする。

A-A

B-B

第2回申請対象GB
スクラップ保管容器受渡装置GB-1

第2図 (2) スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1とAMGB-9の設置場所の関係

ウラン燃料棒収容装置等周辺のSG設備

(■-2)

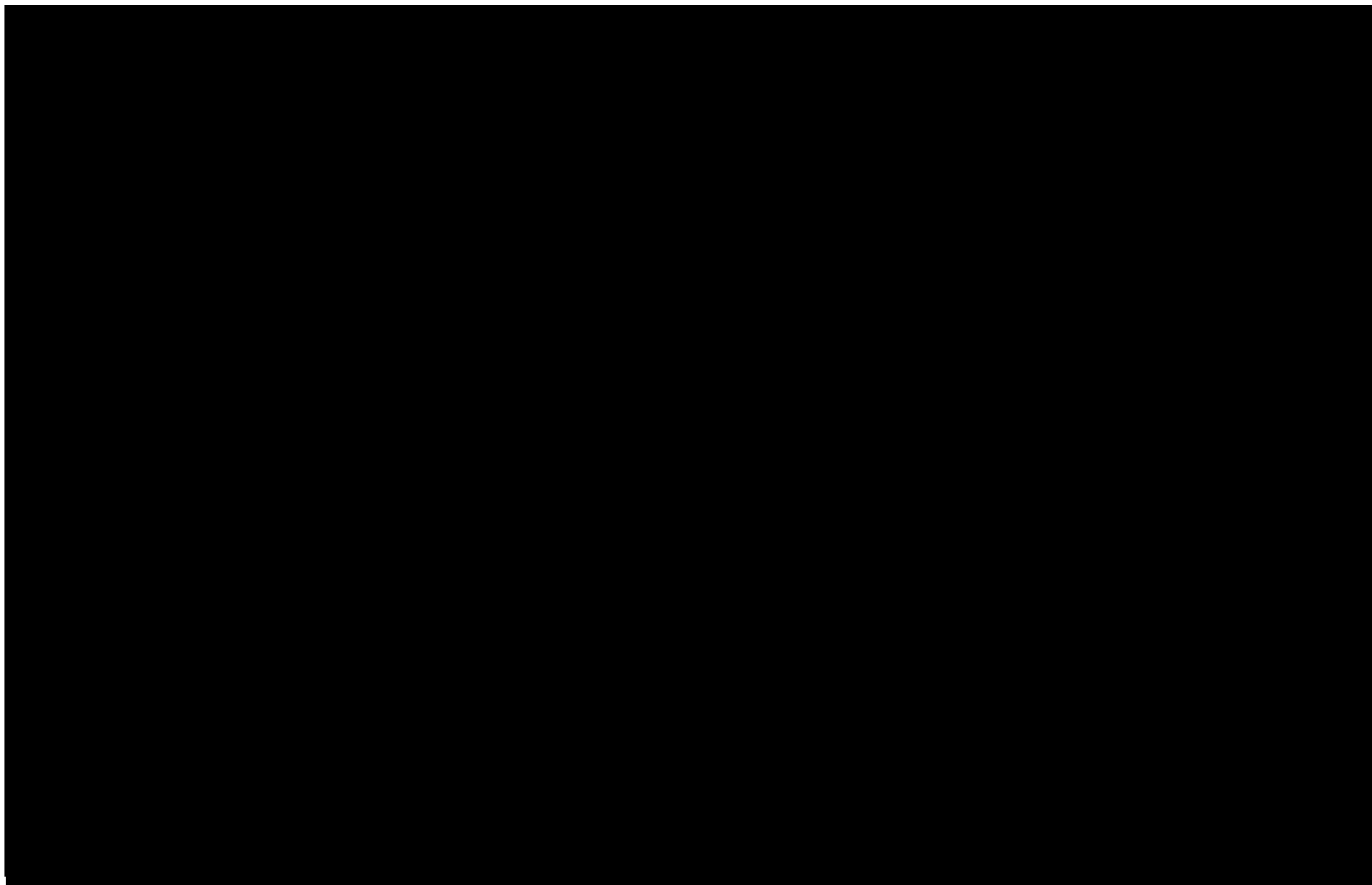
ウラン燃料棒収容装置及び遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の周辺■-2を設置する設計としている。

■-2とウラン燃料棒収容装置及び遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の設置場所を第1図に示す。■-2の設置スペースを第2図に示す。

■-2は、遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の上下左右に■-2の設置スペースを確保し、相互影響を考慮した設置場所となっている。



第1図 ■-2, ウラン燃料棒収容装置及び遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の設置場所



第2図 ■-2 設置スペース

収去試料受払装置グローブボックス周辺のSG設備

(■■■■, 査察現場キャビネット (LC-20A))

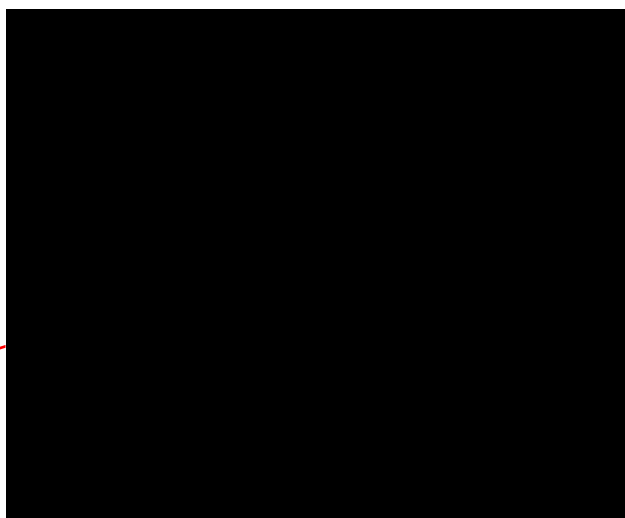
収去試料受払装置グローブボックスの底部の試料測定部から査察試料を計測するために■■■■を設置する設計としている。また、グローブボックス近傍に査察現場キャビネット (LC-20A) を設置する設計としている。

■■■■及び査察現場キャビネット (LC-20A) と収去試料受払装置グローブボックスの設置場所を第1図に示す。■■■■の設置スペースを第2図に示す。

■■■■については、当該測定装置は当該グローブボックスの下部に設置されるが、メンテナンス時は■■■■グローブボックス下部から移動させることができるため、相互の保守性に影響は無い。また、グローブボックスと■■■■が干渉しないよう、クリアランスを確保した設置場所としている。

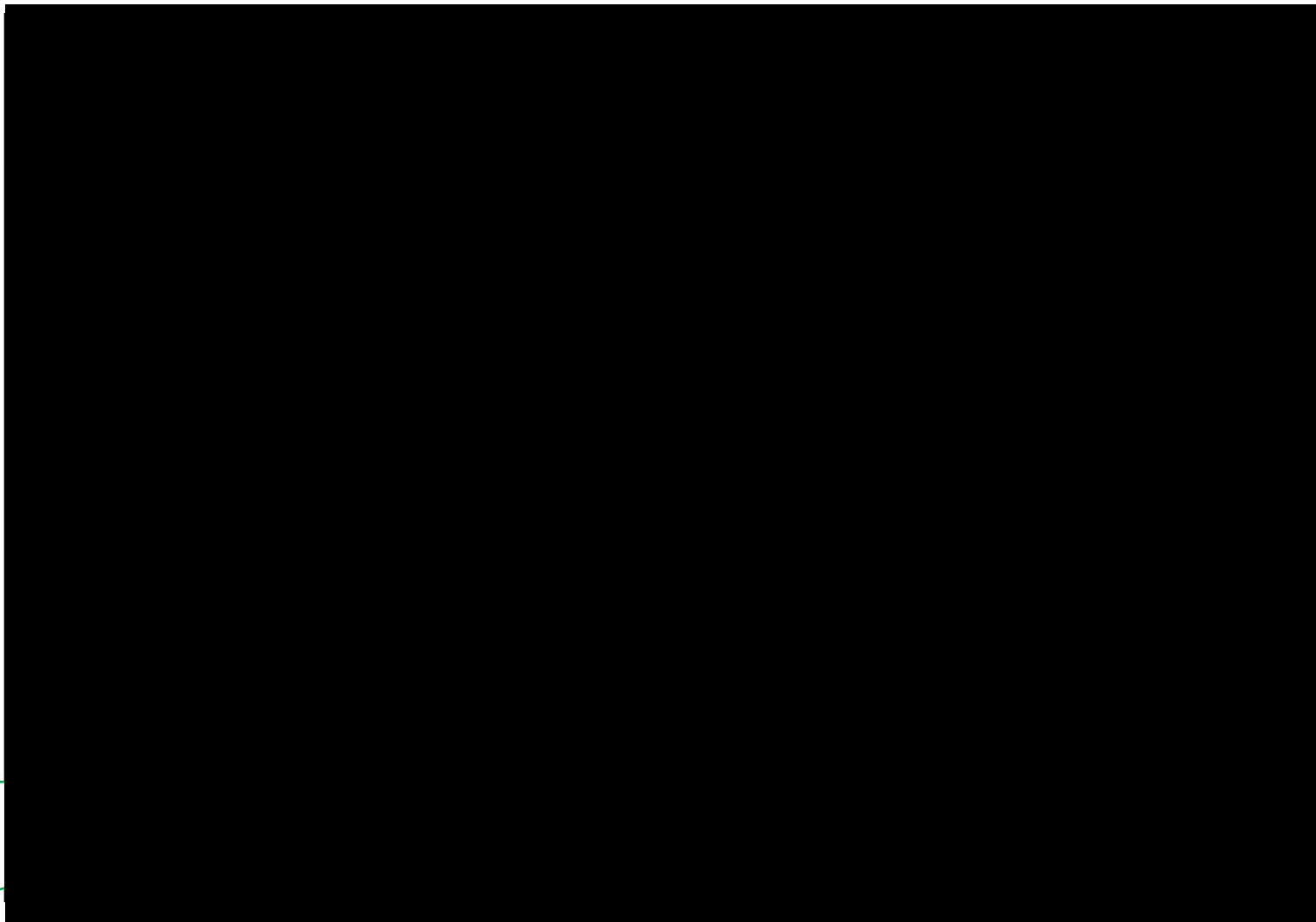
査察現場キャビネット (LC-20A) は、キャビネットのメンテナンスに必要なスペースを確保していることから、相互影響を考慮した設置場所となっている。

収去試料受払装置
グローブボックス



第1図 ■■■■, LC-20A及び去試料受払装置グローブボックス 設置場所

GB缶体の一部が下方へ突き出す構造であり、測定試料がGB内に設置される。
この試料固定部を囲むようにGB外に設置する。
[Redacted] 能である。
[Redacted] (GB(安全機能を有する施設)と[Redacted]のメンテナンス時、相互影響がない設計)
[Redacted]とGB双方の揺れを考慮してもGBと[Redacted]は地震時も干渉し、世知場所としている。
[Redacted] (GB(安全機能を有する施設)とのクリアランスの確保)



第2図 [Redacted] 設置スペース

アクセスルート周辺のPP設備，SG設備

アクセスルート周辺のPP設備及びSG設備は，アクセスルートを阻害しない設計とする。

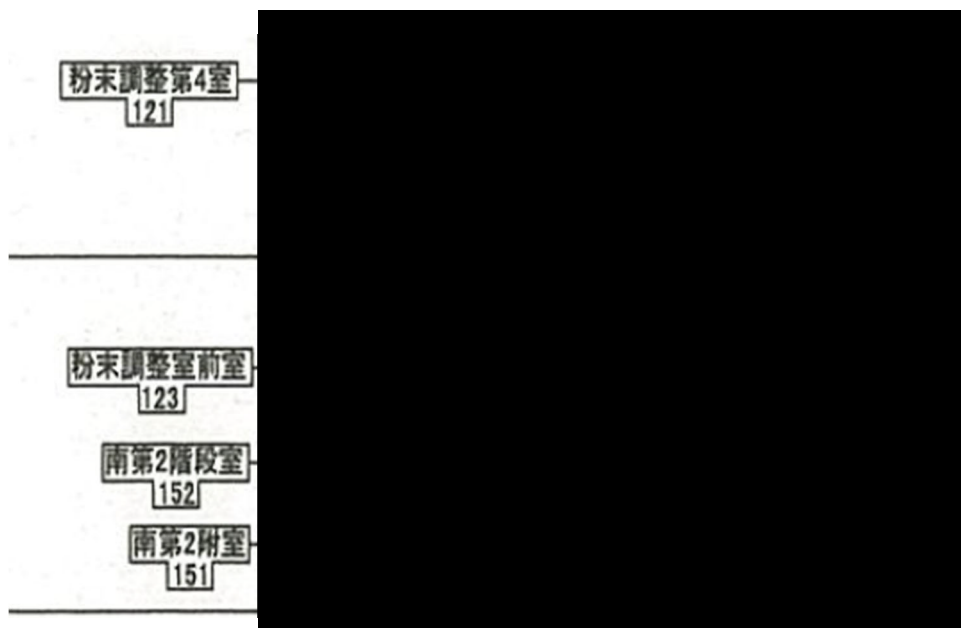
アクセスルート周辺のPP設備を第1図に示す。

なお，SG設備は，アクセスルート周辺への設置する計画はないため，影響を及ぼすおそれはない。

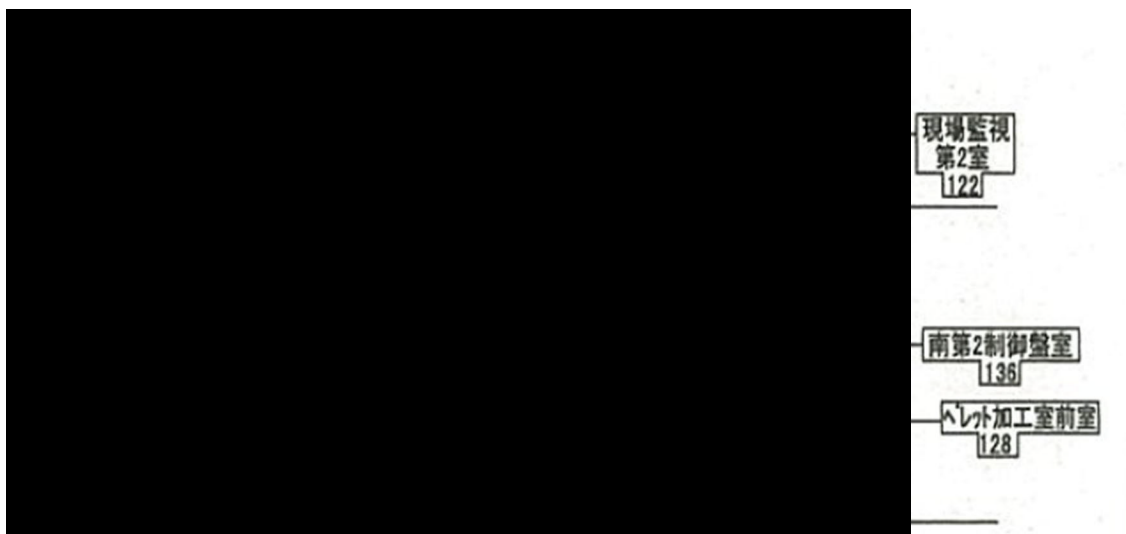
また，PP設備及びSG設備の[REDACTED]は，小型であり，アクセスルートに影響を及ぼすおそれはない。

アクセスルート周辺に設置されるPP設備による影響について，第2図に示す。

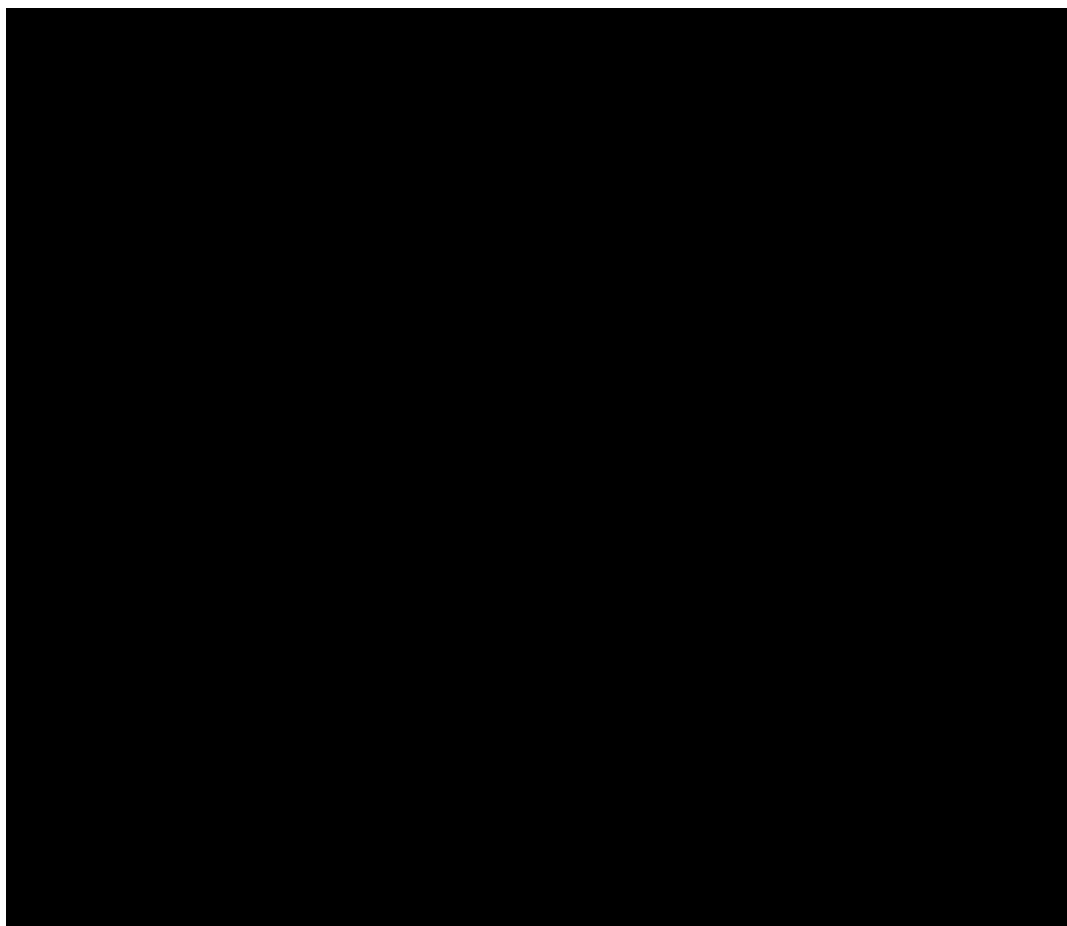
[REDACTED]は，設計検討中で概略寸法ではあるが，落下，転倒したとしても，アクセスルートを阻害することがないことから，アクセスルートに影響を及ぼすおそれはない。



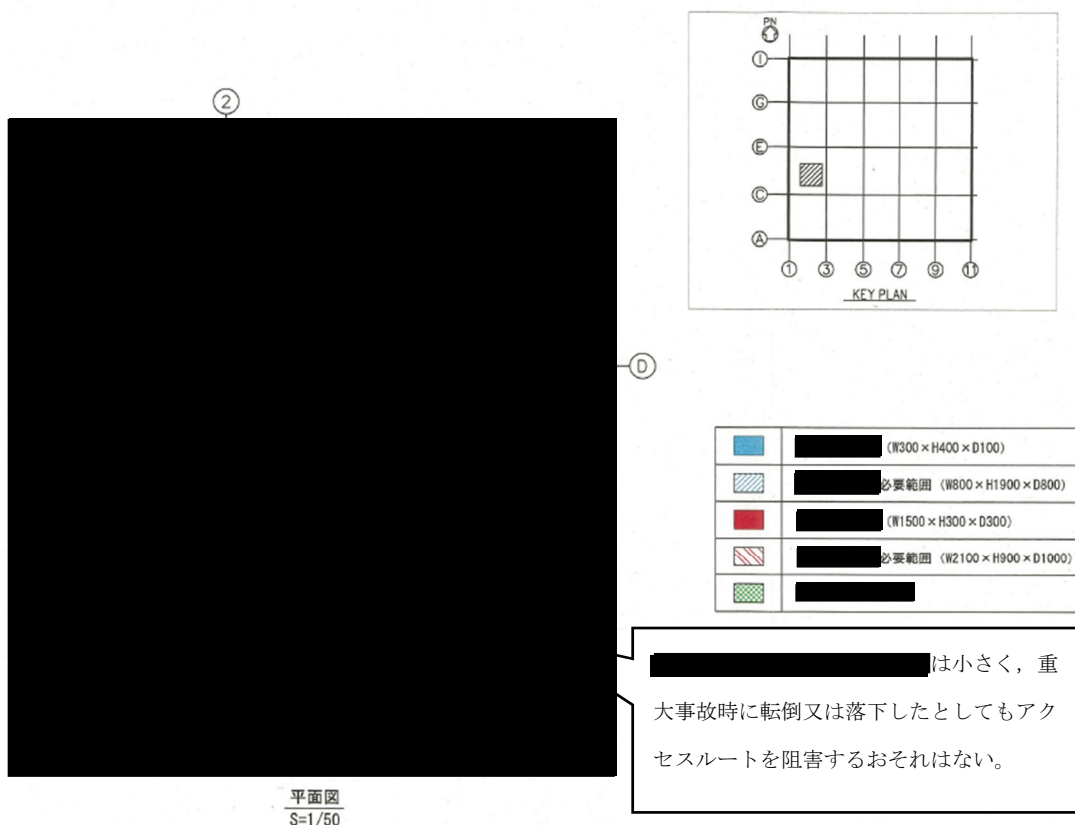
第1図(1) アクセスルート周辺のPP設備 (123室)



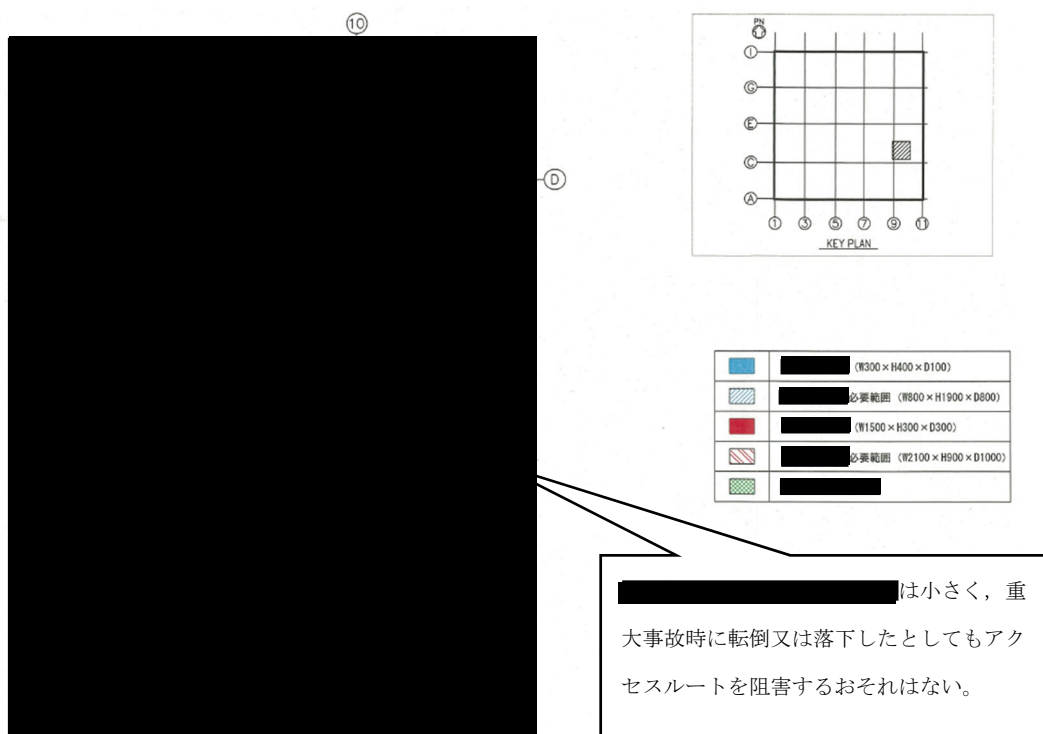
第1図(2) アクセスルート周辺のPP設備 (128室)



第1図(2) アクセスルート周辺のPP設備 (530室)



第2図(1) 123室におけるアクセスルートへの影響



第2図(2) 128室におけるアクセスルートへの影響



第2図(3) 530室におけるアクセスルートへの影響

別紙

資料No.	別紙		提出日	Rev	備考
	名称				
別紙1	主要設備リストの記載方針について		2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙2	準拠規格及び基準の記載方針について		2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙3	設定値根拠説明書の記載方針について		2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙4	工事工程表の記載方針について		2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙5	変更の理由の記載方針について		2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙6	添付図面の記載方針について		2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙7	加工施設の事業変更許可申請書との整合性に関する説明書の記載方針について		2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし